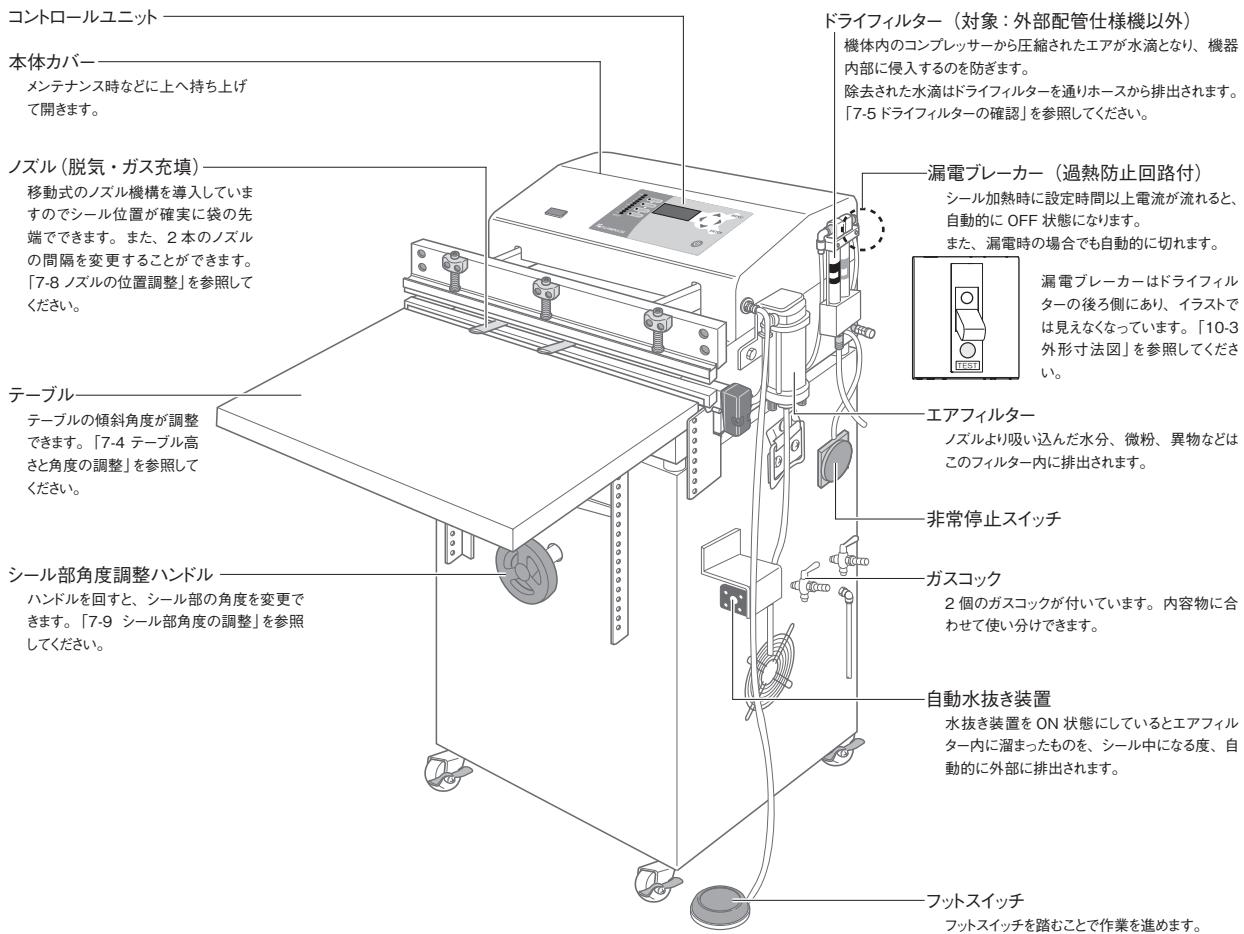
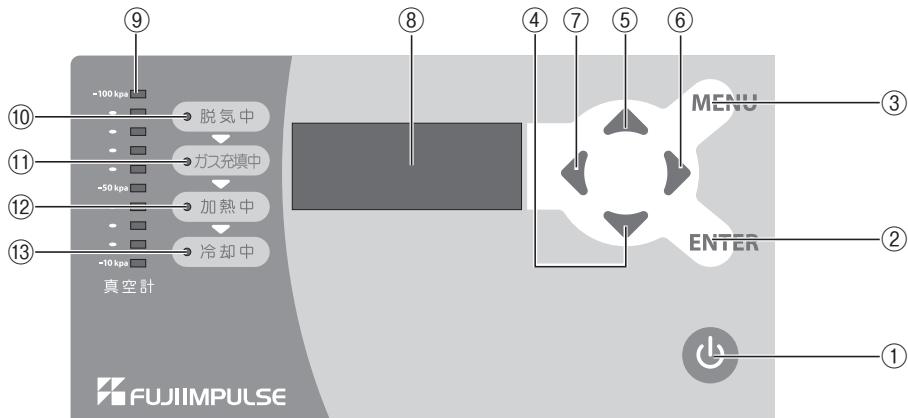


6 各部の名称とはたらき



コントロールユニット



- ① 電源ボタン
電源を入／切にする時に押します。（漏電ブレーカーが「入」状態の時）
- ② ENTER ボタン
各項目、設定を確定する時に押します。
- ③ MENU ボタン
メニュー画面を呼び出す時に押します。
- ④⑤⑥⑦選択ボタン
各設定画面で項目への移動や数値増減などの時に押します。数値設定の場合 ▲、▼ボタンを押し続けると、数値が高速で増減します。

- ⑧ディスプレイ画面
各項目・設定内容がこの画面に表示され、この画面上の指示に沿って設定作業を進めます。
- ⑨真空計
真空度がレベルメーターで表示されます。
- ⑩脱気中ランプ
脱気工程中、点灯します。
- ⑪ガス充填中ランプ
ガス充填工程中、点灯します。
- ⑫加熱中ランプ
加熱工程中、点灯します。
- ⑬冷却中ランプ
冷却工程中、点灯します。

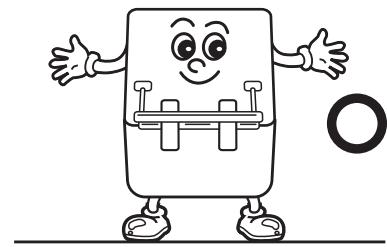
7 準 備

7-1 作業場所の確保

安全に効率的に作業するため、適切な作業環境でご使用ください。

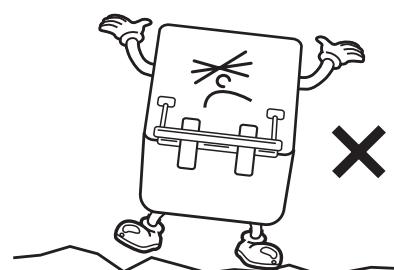
⚠ 警告 傾いたり、段差のある不安定な場所では使用しないでください。

⚠ 警告 製品が設置場所から移動したり、落下したりして、製品の破損や人体の損傷につながります。必ず安定して設置できる水平な面を持つ場所に作業場所を確保してください。



⚠ 警告 設置面が濡れていったり、水滴・水蒸気のかかる場所では使用しないでください。製品の故障の原因となり、漏電・感電の恐れがあります。

⚠ 警告 湿度の高い場所での使用は、製品内蔵のコンプレッサーからの吸気に水分が多く含まれエア機器に悪影響を及ぼします。また、ドライフィルターの寿命が大幅に短くなります。

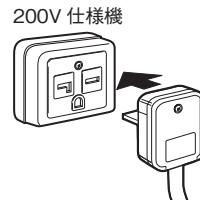
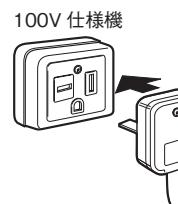


7-2 電源の接続

電源は必ず「10 仕様」に記載している各製品の電圧・消費電力に適合した容量のコンセントから直接接続してください。

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。

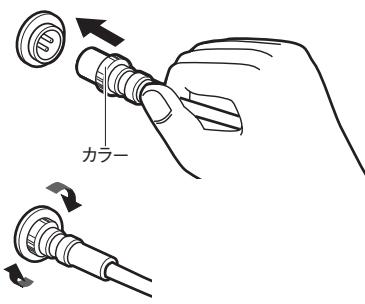
「電気配線工事は電力会社の認定工事店、または第3種接地工事の資格者により行ってください」



⚠ 警告 消費電力は製品によって異なります。コンセントの容量が製品の消費電力以上あることを確かめ、直接接続してください。容量の少ないコンセントから電源を取ったり、継ぎ線やタコ足配線をすると電圧降下し、製品が正常に動作しないだけでなく、電線やコンセントが発熱して火災の原因にもなります。適切な容量の電源工事を行ってください。

7-3 フットスイッチの取り付け

附属品のフットスイッチを本体ボックス側面にあるプラグに差し込み、カラーを回して固定してください。



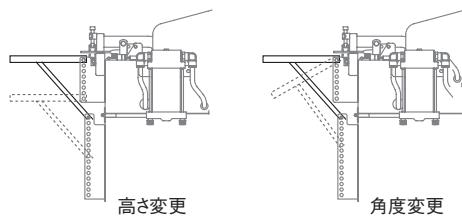
7-4 テーブル高さと角度の調整

テーブルの高さと角度は、製品前面両端にある穴付アンダルの穴への取り付け位置を変えることにより調整します。

■ テーブルの取り付け、取り外し方

テーブルを両手で持ちます。テーブル両奥側の押しボタンを人差し指で押し込みながら上側アンダルの間へはめ込みます。この時、高さを合わせたい位置の穴へ入るように目測しながらセットします。

テーブルの取り外しは、その逆で両手の人差し指で、アンダルの外側から押しボタンを押し込みます。押しボタンを押したまま手前側に引き寄せると、アンダルからテーブルが外れます。



■ テーブル足の取り付け、取り外し方

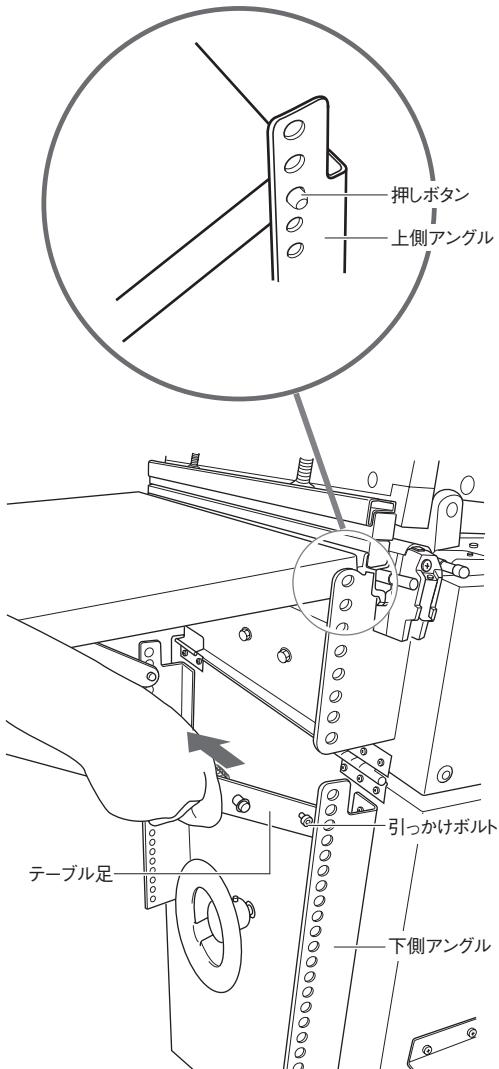
この作業は左右どちらか片側ずつ行うと楽に取り付け・取り外し作業が行えます。

テーブルが合わせたい角度になる位置の下側アンダルの穴を選んで、引っかけボルトの頭を差し込みます。この時、右イラストのようにテーブル足を内側に押すと楽に穴にセットすることができます。

両サイドの高さがずれないように注意してください。



必ず確実にアンダルの穴へ差し込んでください。
確実にセットされていないと、少しの衝撃やテーブルの持ち上げによってテーブルが外れたり傾いたり、落下してケガをする恐れがありますので充分注意してください。



7-5 ドライフィルターの確認

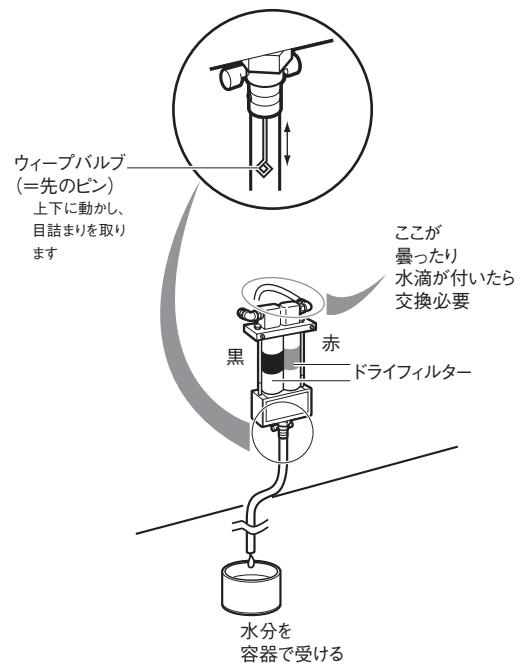
製品側面に取り付けられている2本のドライフィルターは定期的に交換が必要です。特に作業開始時または作業終了後に赤フィルター側のチューブ確認が必要です。チューブが曇ったり、水滴が付いた場合には交換時期でなくても、フィルターを必ず交換してください。

※外部配管仕様機以外

交換の目安

黒フィルター・・・2年

赤フィルター・・・半年



7-6 ウイープバルブで詰まりを取ってください (新品未使用時は必要ありません)

作業開始時または作業終了後はウイープバルブの先に付いているピンを上下に動かして目詰まりを取り除いてください。詳細については、附属品のドライフィルターの取扱説明書を参照してください。

△ 注意 詰まりを除去しないと貯まった水分がシリンダーや機械内部へ浸入して機械故障の原因となります。

7-7 ドライヤードレンの取り方

ドライフィルターは、フィルター内の水分を少量の排気エアに混ぜ、常にドレンとして排出するオートドレン方式になっています。ドライフィルターから排出される水分は、製品右側面からドレンホースを通じ外部に放出されます。ドレンタンクや空缶などでドレンホースを受けてください。

7-8 ノズルの位置調整

本体カバーを上に持ち上げてください。

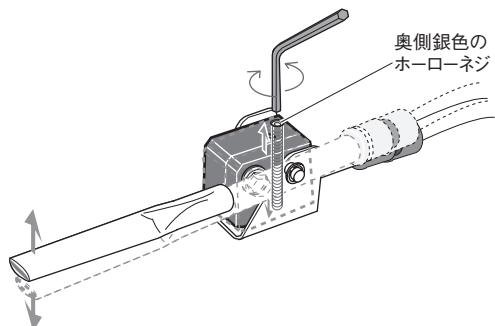
■ ノズルの高さの調整

シール部に突出するノズルの高さはお客様の使いやすい位置(高さ)に微調整することができます。

テーブル側から見てノズルサポーターの左奥側のホーローネジを(右イラスト参照)附属の2.5mm六角レンチで回すとノズルの高さが変わります。

右に回す=低くなる

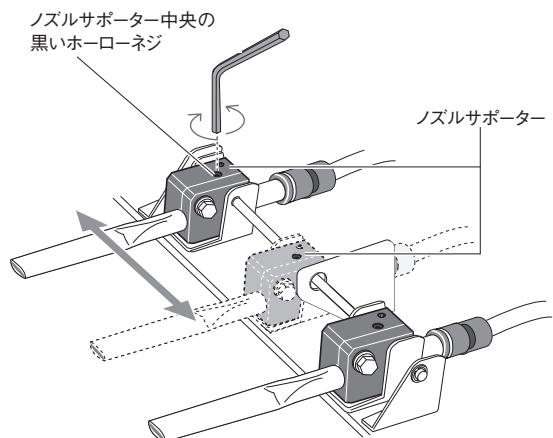
左に回す=高くなる



■ 2本のノズル間隔を調整

袋の幅に応じて2本のノズル間隔を、作業しやすいようにセットすることができます。

- 1 ノズルサポーター中央の黒いホーローネジを六角レンチ(2.5mm)で緩めます。
- 2 ノズルサポーターを袋の幅に適した間隔にスライドさせます。
ノズルの移動間隔は、最大157mm、最小57mmです
- 1で緩めたホーローネジを締めます。
- 3 ノズル間隔を確認した上で本体カバーを元に戻します。



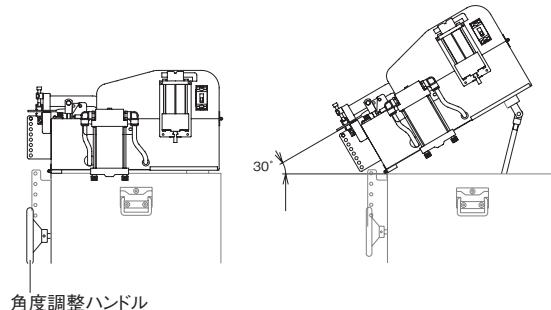
7-9 シール部角度の調整

シール部の角度を0～30度まで無段階に調整することができます。

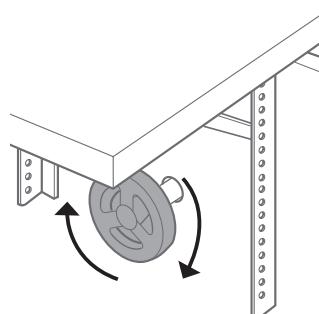
■ 調整の仕方

製品前面部の黒いハンドルを回すと、シール部角度を無段階に変えることができます。

右に回す=0度へ



左に回す=30度へ



7-10 非常停止スイッチの作動状態確認

万一のトラブルに備えて非常停止スイッチを押して、漏電ブレーカーが「OFF (O)」になるか、非常停止スイッチの作動確認をしてください。

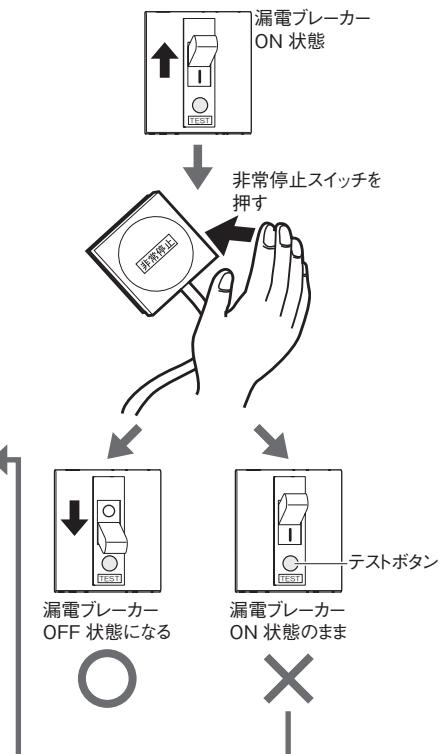
- 1 漏電ブレーカーを「ON (I)」にしてください。
- 2 非常停止スイッチを押してください。
- 3 漏電ブレーカーが「OFF (O)」になった場合、非常停止スイッチは正常に機能しています。

非常停止スイッチを押すと、ボタンスイッチにロックがかかる構造になっていますので、ロックを解除する場合は、非常停止スイッチの上部を右方向に回転させると解除することができます。

▲ 警告 漏電ブレーカーが「OFF (O)」にならない場合（「ON (I)」のままの場合）は、以下の手順で確認していただき、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

漏電ブレーカーに付いているテストボタン（右イラスト参照）を押してください。

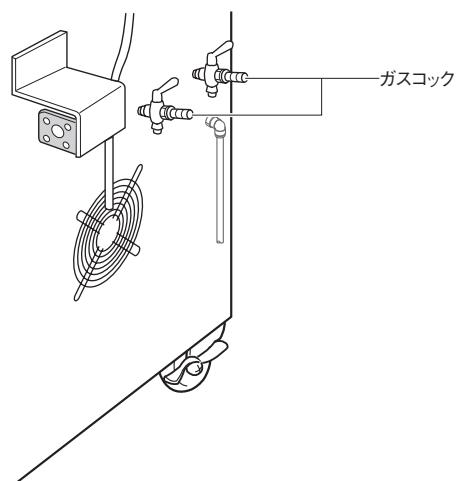
- ・漏電ブレーカーが「OFF (O)」になった場合
=非常停止スイッチの故障が考えられます。
- ・漏電ブレーカーが「ON (I)」のままの場合
=漏電ブレーカーの故障が考えられます。



7-11 ガスポンベ及びガス調整器との接続

ガスポンベ及び調整器は製品に附属しておりませんので、必要に応じてご用意ください。

- 1 ポンベにガス調整器（減圧弁と流量計の付いたもの）を接続してください。
- 2 ガス流量器を製品のコックに、ビニールホースなどで接続してください。1個だけ使用する場合、使用しない方のコックは、必ず閉じておいてください。2個あるコックのどちらに接続していただいても構構です。
2種類のガスを併用する場合は、それぞれのコックにガスホースを接続してください。
ガスを使用しない場合は、両方のガスコックを閉じておいてください。



7-12 エア源のセットアップ (対象: 外部配管仕様機)

VG シリーズの外部配管仕様機は製品を駆動させるために別途エアコンプレッサーが必要となります。適合するコンプレッサーをご使用ください。

適合コンプレッサー

クリーンエア: 0.75kW、80L/min、0.5MPa 以上

1 エア配管

エア配管は、エアホース(内径φ8)を使用してください。エアホースをエアコック(エア接続口)の根本まで差し込み、ホースバンドでしっかりとめてください。



以下作業を始める際、フィルタレギュレータのエアコックを開くと、エア圧力で圧着レバーが開きます。充分注意して準備してください。

2 エアコック

エア源の接続を行ったのち、フィルタレギュレータのエアコックを開き、エア圧力の調整を行ってください。作業終了時には、必ずエアコックを閉じるようにしてください。

3 エア圧の調整

フィルタレギュレータのエア圧力調整ノブを引き上げ、時計回り(右回り)に回すと、エア圧が上がります。

設定位置でエア圧力調整ノブを押し、溝に入れてロックしてください。

圧力設定値: 0.35MPa

■ エア圧を下げたい場合

フィルタレギュレータのエア圧力調整ノブを引き上げ、反時計回り(左回り)に回します。このときノンリリーフ仕様なので配管中のエアは抜けず、圧力計の値も下がりません。適当にノブを回したら、軽くフットスイッチを操作して、配管中に残っているエアを消費してください。圧力計の値が下がります。

今度はエア圧力調整ノブを時計回り(右回り)に回して、設定したい圧力まで調整してください。

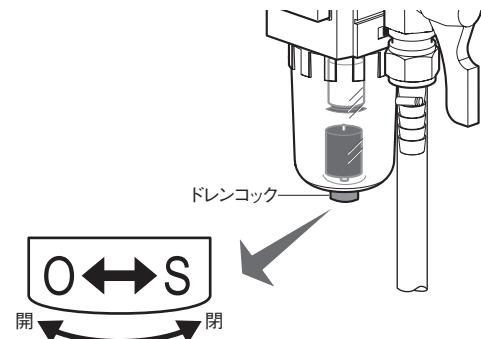
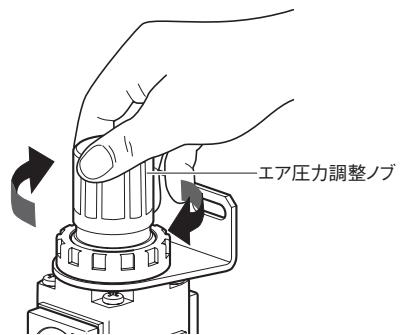
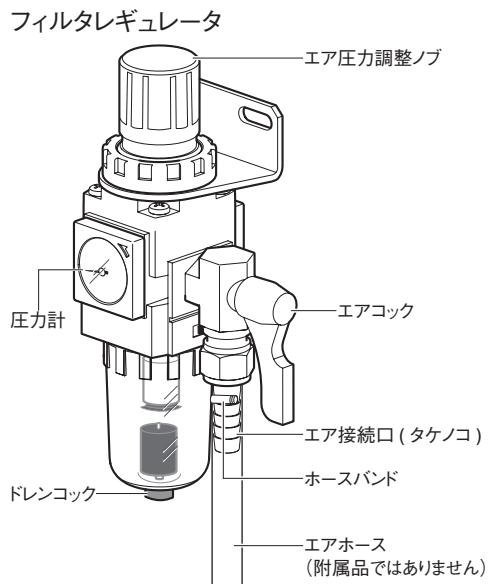
設定位置でエア圧力調整ノブを押し、溝に入れてロックしてください。

4 ドレン抜き

このフィルタレギュレータはオートドレンタイプとなっています。手動でドレンを排出したい場合は、フィルタレギュレータ(右イラスト)のドレンコックを時計回り(O側)に回すと、溜まったドレン(水分)が排出できます。

ドレンを抜いたら、ドレンコックを反時計回り(S側)に回して閉じてください。

注 ! オートドレンタイプのため、エア供給を止めると常時ドレンが排出されます。



8 正しい使い方

正しい使い方の解説の構成

「正しい使い方」は以下 8-1 から 8-5 までの構成からなっています。

8-1 標準登録設定で使ってみましょう!

= 工場出荷時登録の設定で基本操作を解説

標準登録してある 4 つの作業方法（工場出荷時登録済み）の使い方の説明で基本操作を確認していただけます。

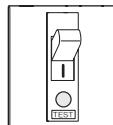
8-2 登録をしてみましょう!

= 登録例で登録方法を解説

2 種類の登録例をあげて登録方法を説明しています。

「8-1 標準登録設定で使ってましょう!」と「8-2 登録をしてみましょう!」での解説で、以下に述べる 1 と 2 の操作を行った状態からの手順を掲載しています。

1 漏電ブレーカーを ON 状態にしてください



2 電源スイッチを ON 状態にしてください



ディスプレイ画面に下画面が 3 秒間表示します。



（上記は、「NC ハイカン」が有効、「ミズヌキ」が ON 状態の場合の表示です）

8-3 用語リファレンス

= 用語解説（五十音別）

VG-602/VG-402 シリーズのディスプレイ画面表示やこの取扱説明書に出てくる言葉・表現を解説していますので、辞書的にお使いください。

マニュアル操作って何？ インパルスって何？ などを確認できます。

8-4 各操作・各設定リファレンス

= 各作業方法における操作・設定の解説

8-5 各作業手順

= 13 種類ある作業方法の組み合わせ別の作業の流れを手順で解説

コントローラーの設定を行ったあとは、作業手順を読んでいただくことで、使い方のおおよその流れを確認していくことができます。

8-3 と 8-4 は辞書（データベース）的にご利用ください。

8-1 標準登録設定で使ってみましょう!=基本操作

注！ 工場出荷時に設定している4種類の標準登録設定は、お客様が加熱温度や脱気時間・ガス充填時間などを変更することによって設定を変更することができます。
標準登録設定を変更した後で再現したい場合は再度登録し直す必要があります。
「標準登録設定で使ってみましょう」の習得途中で各設定値を変更したい場合は、各項目を「8-4 各操作・設定リファレンス」に記載している方法で設定してください。

- まず、基本操作をこの4種類の標準登録設定作業方法でご確認ください。
- わからない用語は……「8-3 用語解説」を参照してください。
- 他にどんな作業方法があるのか?は……「8-5 各作業手順」を参照してください。

8-1-1 シールだけを行う

=作業 No 「01」 シールセンヨウ
工場出荷時の設定項目: 加熱温度 =140°C、冷却温度 =100°C
=「8-5 各作業手順」の「8-5-1 シール専用」

8-1-2 目安で真密度を見て脱気シールを行う

=作業 No 「02」 ダッキシールマニュアル
工場出荷時の設定項目: 加熱温度 =140°C、冷却温度 =100°C
=「8-5 各作業手順」の「8-5-2 マニュアル(目安) 脱気 + シール」

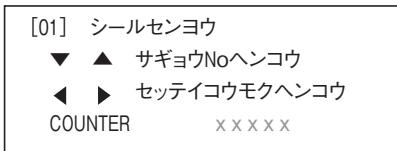
8-1-3 予めタイマーで設定されている脱気時間とガス充填時間でガス充填シールを行う

=作業 No 「03」 1カイガスタイマー
工場出荷時の設定項目: 加熱温度 =140°C、冷却温度 =100°C、
脱気タイマー 1.0 秒、ガスタイマー 2.0 秒
=「8-5 各作業手順」の「8-5-6 (1 回) タイマー脱気 + ガス充填 + シール」

8-1-4 予めタイマーで設定されている2回の脱気時間と2回のガス充填時間でガス充填シールを行う

=作業 No 「04」 2カイガスタイマー
工場出荷時の設定項目: 加熱温度 =140°C、冷却温度 =100°C、
1回目脱気タイマー =1.0 秒、2回目脱気タイマー =1.0 秒
1回目ガスタイマー =2.0 秒、2回目ガスタイマー =2.0 秒
=「8-5 各作業手順」の「8-5-9 n回タイマー脱気 + ガス充填 + シール」

作業 No. の変更は次イラスト=ディスプレイ画面の初期画面



が表示されている状態で▲、▼を押すと(切り替え)変更できます。

8-1-1 シールだけを行う

選択作業 No. は No「01」 シール専用

工場出荷時の設定値：加熱温度 =140°C、冷却温度 =100°C

=「8-5 各作業手順」の「8-5-1 シール専用」

MEMO 以下の設定は、製品開梱後何も設定変更を加えていない状態での解説です。

1 漏電ブレーカーを ON 状態にする

2 電源スイッチを ON 状態にする

3 ディスプレイ画面が作業 No「01」に変わる

作業 No「01」のシール専用の画面が表示されます。

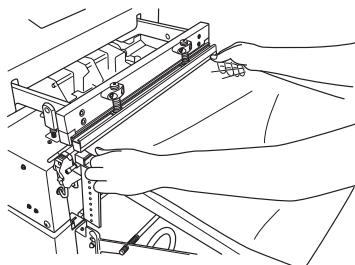
[01] シールセンヨウ	
▼ ▲ サギョウノヘンコウ	
◀ ▶ セッティイコウモクヘンコウ	
COUNTER	XXXXX

4 加熱温度・冷却温度などを確認

工場出荷時の加熱温度・冷却温度の設定を変更する場合は、「8-4 各操作・各設定リファレンス」を参照してください。

5 シール面に袋をセット

シール位置を確かめながら、袋の両端を整えてください。



6 フットスイッチ (1 回目) を踏む



圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。(圧着レバーが閉じるまで踏んだ状態を保ってください。)

注 ! 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

7 フットスイッチ (2 回目) を踏む

2 回目のフットスイッチを踏む操作をすると a から e の工程が自動的に行われます。

- ・ 圧着レバーがシール面に密着(シール開始)。
- ・ 加熱中ランプが点灯。



- ・ 加熱終了後(加熱中ランプ消灯)、冷却中ランプが点灯。



- ・ 冷却終了(冷却中ランプ消灯)



- ・ シール完了(圧着レバーが上がりります)

8 シール完了

以上で作業工程終了です。シールが確実に行われていることを確認してください。

長時間作業を行わない時は、

- 1 電源ボタンを OFF
- 2 漏電ブレーカーを OFF
- 3 電源コードの接続を解除

の順に行って機械を停止させてください。

8-1-2 目安で真空度を見て脱気シールを行う

選択作業 No. は No 「02」 脱気シールマニュアル

工場出荷時の設定値：加熱温度 = 140°C、冷却温度 = 100°C

= 「8-5 各作業手順」の「8-5-2 マニュアル(目安) 脱気 + シール」

MEMO 以下の設定は、製品開梱後何も設定変更を加えていない状態での説明です。

1 漏電ブレーカーを ON 状態にする

2 電源スイッチを ON 状態にする

3 ディスプレイ画面が作業 No 「01」に変わる

作業 No 「01」のシール専用の画面が表示されます。

[01]	シールセンヨウ
▼	▲ サギョウNoヘンコウ
◀	▶ セッティコウモクヘンコウ
COUNTER	XXXXX

4 ディスプレイ画面の作業 No 「02」を選ぶ

▲、▼ボタンを押すと登録された作業 No の画面に切り替わりますので、作業 No 「02」を選んでください。

[02]	ダッキシールマニュアル
▼	▲ サギョウNoヘンコウ
◀	▶ セッティコウモクヘンコウ
COUNTER	00000

5 加熱温度・冷却温度などを確認

工場出荷時の加熱温度・冷却温度の設定を変更する場合は、「8-4 各操作・各設定リファレンス」を参照してください。

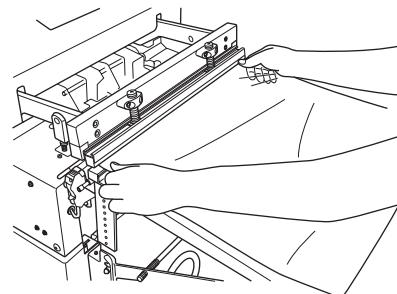
6 フットスイッチ (1 回目) を踏む



ノズルが前に出できます。

7 シール面に袋をセット

内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。



8 フットスイッチ (2 回目) を踏む

圧着レバーが下降し、ノズルと袋をスポンジで挟み込み密封します。(圧着レバーが閉じるまで踏んだ状態を保ってください)

注 ! 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

9 フットスイッチ (3 回目) を踏む

脱気がスタートします。(脱気中ランプ点灯)



10 適切な脱気状態になればフットスイッチ (4 回目) を踏む

4 回目のフットスイッチを踏む操作をすると以下の工程が自動的に行われます。

- ・ 脱気終了。(脱気中ランプ消灯)
- ・ ノズル後退

(「8-1-2 目安で真空度を見て脱気シールを行う」のつ
づき)

- 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。(加熱中ランプが点灯)



加熱中

- 加熱終了後(加熱中ランプ消灯)、冷却中ランプが点灯。



加熱中



冷却中

- 冷却終了(冷却中ランプ消灯)



冷却中

- シール完了(圧着レバーが上がり、ノズルが前進します)

11 シール完了

以上で作業工程終了です。シールが確実に行われているか確認してください。

長時間作業を行わない時は、

- 1 電源ボタンを OFF
 - 2 漏電ブレーカーを OFF
 - 3 電源コードの接続を解除
- の順に行って機械を停止させてください。

8-1-3 予めタイマーで設定されている脱気時間とガス充填時間でガス充填シールを行う

選択作業 No. は No 「03」 1 回ガス、タイマー脱気

工場出荷時の設定値：脱気タイマー =1.0 秒 ガス(充填)タイマー =2.0 秒

加熱温度 =140°C、冷却温度 =100°C

= 「8-5 各作業手順」の「8-5-6 (1 回) タイマー脱気 + ガス充填 + シール」

MEMO 以下の設定は、製品開梱後何も設定変更を加えていない状態での説明です。

1 漏電ブレーカーを ON 状態にする

2 電源スイッチを ON 状態にする

3 ディスプレイ画面が作業 No 「01」に変わる

作業 No 「01」のシール専用の画面が表示されます。

[01]	シールセンヨウ
▼	▲ サギョウNoヘンコウ
◀	▶ セッティコウモクヘンコウ
COUNTER	XXXXX

4 ディスプレイ画面の作業 No 「03」を選ぶ

▲、▼ボタンを押すと登録された作業 No の画面に切り替わりますので、作業 No 「03」を選んでください。

[03]	1カイガス タイマー
▼	▲ サギョウNoヘンコウ
◀	▶ セッティコウモクヘンコウ
COUNTER	00000

5 加熱時間・冷却温度・脱気タイマー・ガス充填タイマーなどを確認

工場出荷時の加熱温度・冷却温度・脱気タイマー・ガス充填タイマーの設定を変更する場合は、「8-4 各操作・各設定リファレンス」を参照してください。

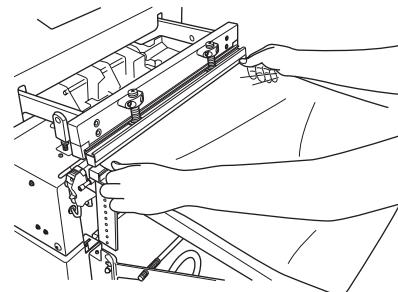
6 フットスイッチ (1 回目) を踏む



ノズルが前に出できます。

7 シール面に袋をセット

内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。



8 フットスイッチ (2 回目) を踏む

圧着レバーが下降し、ノズルと袋をスポンジで挟み込み密封します。(圧着レバーが閉じるまで踏んだ状態を保ってください)

注 ! 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

9 フットスイッチ (3 回目) を踏む

3 回目のフットスイッチを踏む操作をすると以下の工程が自動的に行われます。

- 脱気がスタートします。(脱気中ランプ点灯)



- 脱気タイマーで設定してある脱気時間が経過すると脱気終了。(脱気中ランプが消灯)
- ガス充填が開始。(ガス充填中ランプ点灯)



「8-1-3 タイマーで脱気時間とガス充填時間を設定してガス充填シールを行う」のつづき)

- ガス充填タイマーで設定してあるガス充填時間が経過するとガス充填終了。(ガス充填中ランプ消灯)
- ノズル後退
- 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。(加熱中ランプが点灯)



- 加熱終了後(加熱中ランプ消灯)、冷却中ランプが点灯。



- 冷却終了(冷却中ランプ消灯)



- シール完了(圧着レバーが上がり、ノズルが前進します)

10 シール完了

以上で作業工程終了です。シールが確実に行われているか確認してください。

長時間作業を行わない時は、

- 電源ボタンを OFF
- 漏電ブレーカーを OFF
- 電源コードの接続を解除

の順に行って機械を停止させてください。

8-1-4 予めタイマーで設定されている2回の脱気時間と2回のガス充填時間でガス充填シールを行う

選択作業 No. は No 「04」 2回ガス、タイマー脱気

工場出荷時の設定値：1回目脱気タイマー = 1.0 秒 2回目脱気タイマー = 1.0 秒

1回目ガス(充填)タイマー = 2.0 秒 2回目ガス(充填)タイマー = 2.0 秒

加熱温度 = 140°C、冷却温度 = 100°C

= 「8-5 各作業手順」の「8-5-9 n回タイマー脱気 + ガス充填 + シール」

MEMO 以下の設定は、製品開梱後、何も設定変更を加えていない状態での説明です。

1 漏電ブレーカーを ON 状態にする

2 電源スイッチを ON 状態にする

3 ディスプレイ画面が作業 No 「01」に変わる

作業 No 「01」のシール専用の画面が表示されます。

[01]	シールセンヨウ
▼ ▲	サギヨウNoヘンコウ
◀ ▶	セッティコウモクヘンコウ
COUNTER	XXXXX

4 ディスプレイ画面の作業 No 「04」を選ぶ

▲、▼ボタンを押すと登録された作業 No の画面に切り替わりますので、作業 No 「04」を選んでください。

[04]02カイガス タイマー	
▼ ▲	サギヨウNoヘンコウ
◀ ▶	セッティコウモクヘンコウ
COUNTER	00000

5 加熱温度・冷却温度・脱気タイマー・ガス充填タイマーなどを確認

工場出荷時の加熱温度・冷却温度・脱気タイマー・ガス充填タイマーの設定を変更する場合は、「8-4 各操作・各設定リファレンス」を参照してください。

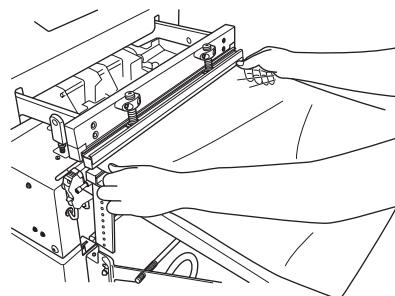
6 フットスイッチ (1回目) を踏む



ノズルが前に出できます。

7 シール面に袋をセット

内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。



8 フットスイッチ (2回目) を踏む

圧着レバーが下降し、ノズルと袋をスポンジで挟み込み密封します。(圧着レバーが閉じるまで踏んだ状態を保ってください)

注 ! 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

9 フットスイッチ (3回目) を踏む

3回目のフットスイッチを踏む操作をすると以下の工程が自動的に行われます。

- 脱気開始。(脱気中ランプが点灯)



- 脱気タイマーで設定してある脱気時間が経過すると1回目の脱気終了。(脱気中ランプ消灯)

- ガス充填が開始。(ガス充填中ランプが点灯)



(「8-1-4 タイマーで 2 回の脱気時間と 2 回のガス充填時間を設定してガス充填シールを行う」のつづき)

- ガス充填タイマーで設定してあるガス充填時間が経過すると 1 回目のガス充填終了。(ガス充填中ランプ消灯)
- 2 回目の脱気開始。(脱気中ランプが点灯)



- 脱気タイマーで設定してある脱気時間が経過すると 2 回目の脱気終了。(脱気中ランプ消灯)
- ガス充填が開始。(ガス充填中ランプが点灯)



- ガス充填タイマーで設定してあるガス充填時間が経過すると 2 回目のガス充填終了。(ガス充填中ランプ消灯)
- ノズル後退
- 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。(加熱中ランプが点灯)



- 加熱終了後(加熱中ランプ消灯)、冷却中ランプが点灯。



- 冷却終了(冷却中ランプ消灯)



- シール完了(圧着レバーが上がり、ノズルが前進します)

10 シール完了

以上で作業工程終了です。シールが確実に行われているか確認してください。

長時間作業を行わない時は、

- 電源ボタンを OFF
 - 漏電ブレーカーを OFF
 - 電源コードの接続を解除
- の順に行って機械を停止させてください。

8-2 登録してみましょう

- 注 !** 作業 No の登録は、最大 10 個まで登録することができます。
10 個以上を登録しようとするとディスプレイ画面に「トウロク デキル サギョウ No ガ イッパイデス」と表示されます。登録済みの作業 No のいずれかを削除してからでないと登録することができません。
- 注 !** 登録する場合、作業 No は自動的に登録されている作業 No の末尾の次に自動的に登録されます。
例) 作業 No4 まで登録されていると次に登録する場合は、自動的に作業 No5 に登録されます。

「8-2 登録してみましょう」では、2 種類の登録例をあげて登録方法を説明しています。

登録方法をご理解の上、登録例以外の登録も行ってください。

8-2-1 シール専用の登録方法

=作業 No 「05」 シールセンヨウ

登録内容: 加熱温度 =140°C、加熱時間 =0.3 秒、冷却温度 =100°C

8-2-2 タイマーによる 1 回脱気、ガス充填の登録方法

=作業 No 「06」 1 カイガスタイマー

登録内容: 加熱温度 =140°C、加熱時間 =0.3 秒、冷却温度 =100°C、

脱気タイマー =12.0 秒、ガスタイマー =8.0 秒

8-2-1 シール専用の登録方法

注！ 以下の設定は、製品開梱後何も設定変更を加えていない状態からの説明です。

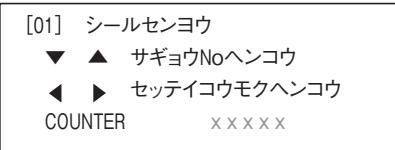
作業 No. 「05」 にシール専用を登録

登録内容の数値：加熱温度 =140°C 加熱時間 =0.3 秒 冷却温度 =100°C

1 漏電ブレーカーを ON 状態にする

2 電源スイッチを ON 状態にする

3 ディスプレイ画面に作業 No 「01」が表示されます



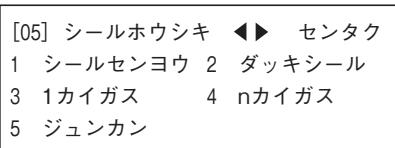
4 ボタンを押す



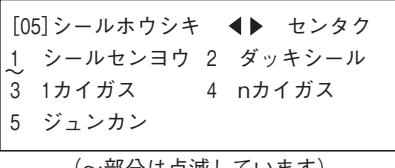
5 ◀、▶ ボタンで「1トウロク」を選ぶ



6 ボタンを押すと、次の画面に変わります



7 ◀、▶ ボタンでシール方式「1 シールセンヨウ」を選ぶ



8 ボタンを押すと、次の画面に変わります



9 加熱温度を 140°C に設定する

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定』を参照してください。

10 ▶ ボタンを押し、加熱時間を 0.3 秒に設定する

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定』を参照してください。

11 ▶ ボタンを押し、冷却温度を 100°C に設定する

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定』を参照してください。

8-2-2 タイマーによる1回脱気、ガス充填の登録方法

注！ 以下の設定は、製品開梱後何も設定変更を加えていない状態からの説明です。

作業 No.「05」に1回ガス、脱気タイマーを登録

登録内容の数値：加熱温度 = 140°C 加熱時間 = 0.3 秒 冷却温度 = 100°C

脱気タイマー = 12.0 秒、ガスタイマー = 8.0 秒

1 漏電ブレーカーを ON 状態にする

2 電源スイッチを ON 状態にする

3 ディスプレイ画面に作業 No 「01」が表示されます

[01] シールセンヨウ	
▼ ▲ サギョウNoヘンコウ	
◀ ▶ セッティコウモクヘンコウ	
COUNTER	XXXXX

4 ボタンを押す

メニュー ◀▶ センタク MENUモドル
1 トウロク 2 ヘンコウ
3 サクジョ 4 NCハイカン
5 ミズヌキ 6 メンテナンス

5 ◀、▶ ボタンで「1トウロク」を選ぶ

メニュー ◀▶ センタク MENUモドル
1 トウロク 2 ヘンコウ
3 サクジョ 4 NCハイカン
5 ミズヌキ 6 メンテナンス

(～部分は点滅しています)

6 ボタンを押すと、次の画面に変わります

[05] シールホウシキ ◀▶ センタク
1 シールセンヨウ 2 ダッキシール
3 1カイガス 4 nカイガス
5 ジュンカン

7 ◀、▶ ボタンでシール方式「3 1カイガス」を選ぶ

[05] シールホウシキ ◀▶ センタク
1 シールセンヨウ 2 ダッキシール
3 1カイガス 4 nカイガス
5 ジュンカン

(～部分は点滅しています)

8 ボタンを押すと、次の画面に変わります

[05] ダッキホウシキ ◀▶ センタク
1カイガス
1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ

(～部分は点滅しています)

9 ◀、▶ ボタンで脱気方式「2 タイマー」を選ぶ

[05] ダッキホウシキ ◀▶ センタク
1カイガス
1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ

(～部分は点滅しています)

10 ボタンを押すと、次の画面に変わります

[05] ▼ ▲ヘンコウ ◀▶ イドウ
1VT10.0sec G10.0sec
HT 60°C 0.0s CT 40°C

(～部分は点滅しています)

11 脱気タイマーを 12.0 秒に設定する

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 脱気タイマー（時間）の設定』を参照してください。

12 ボタンを押し、ガス充填タイマーを 8.0 秒に設定する

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-2 英数字 >> 1 回ガス充填タイマーの設定』を参照してください。

13 ▶ ボタンを押し、加熱温度を 140°C に設定する

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定』を参照してください。

(「8-2-2 タイマーによる 1 回脱気、ガス充填の登録方法」のつづき)

- 14 ▶ ボタンを押し、加熱時間を 0.3 秒に設定する
『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定』を参照してください。
- 15 ▶ ボタンを押し、冷却温度を 100°C に設定する
『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定』を参照してください。

8-3 用語解説

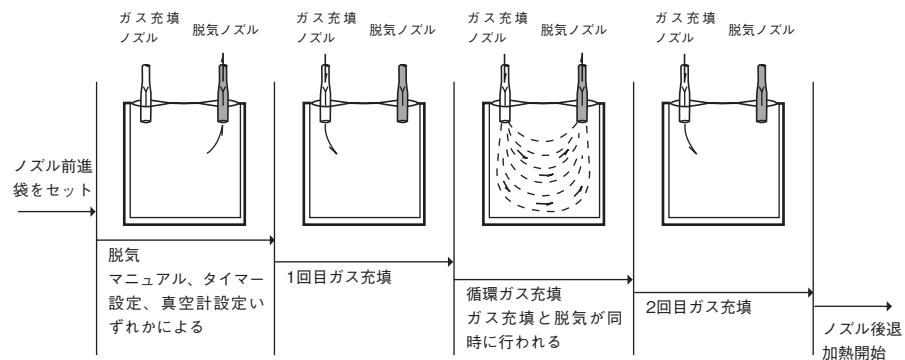
「8-3 用語解説」では、VG-602/VG-402 シリーズのディスプレイ画面表示やこの取扱説明書の中で出てくる「弊社製品特有の“表現”“単語”」などを解説します。

その他、富士インパルスシーラー基礎知識的な用語も収録しています。

五十音別に掲載していますので辞書的にご活用ください。

い	インパルスシーラー インパルス方式	<p>シールする技術は、使用する目的や用途に応じて4つの方式に分かれます。プラスチックフィルム包材（袋ですね）の開口部または、開放部を封緘するマシンをシーラーと総称します。そのシールの接着手段に熱を利用しているものをヒートシーラーと言います。</p> <p>一般的に使用されるヒートシール技術は</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インパルスシーラー、 2. 熱板シーラー 3. 超音波シーラー、 4. 高周波シーラー <p>があります。</p> <p>富士インパルスは、その中のインパルスシーラーを製造しています。インパルスシーラーは、</p> <p>熱接着刃型の表面に熱源として装備されたリボン状ヒーターに瞬間に大電流を流して熱接着可能な状態にまで発熱させ、熱伝導により熱接着対象物を熱接着するもの。</p> <p>接着しようとする封緘部を熱接着刃型の間にに入れ、熱接着刃型で加圧し、リボン状ヒーターで瞬間に※に通電し、加熱し、熱伝導により封緘部を熱融着させる。通電完了後も加圧状態のまま冷却工程を必要とする。</p> <p>（株式会社日報：包装タイムス掲載文章を参照しました。）</p> <p>※瞬間的=インパルス (IMPULSE：衝撃、推進力、瞬間力、衝動 / 研究社新英和中辞典より)</p>
お	温度センサー	シール部の温度を直接検出します。
し	真空計脱気	真空度の設定を行い、設定した真空度まで脱気を行います。
し	シール シールする	<p>一般的に“シール”と耳にされたら「表面に絵や文字を印刷した糊付きの紙状のもの」を頭に浮べられる方が多いのではないかと思います。</p> <p>この“シール”的通称で呼んでいるものは「ラベル (label)」の方が正しい呼び方となるかもしれません。</p> <p>私たちが造る機械の「“シール”する」は、これとは異なります。ちょっと難しいですが、プラスチックフィルム包材（袋ですね）の開口部または、開放部を封緘（ふうかん）する事を“シール”と言います。また、そのシールを行う機械をシーラー、シール機と総称します。</p>
し	シール専用	シールだけを行います。この設定にすると脱気及びガス充填機能は稼働しません。

し	シール方式 (ディスプレイ画面に表示される表現)	VG-602/402 シリーズのディスプレイ画面に現れる「シール方式」の意味は、どのような付加作業を行った上でシールする方法を選ぶか?を設定する際に、「シール方式の選択」と表現しています。 シール方式の広義の意味は「インパルス式」「超音波式」「高周波式」などになりますが、VG-602/402 シリーズのディスプレイ画面の文字数制限による表現力不足とご理解・ご了承ください。
た	タイマー脱気	脱気する時間の設定を行い、設定時間まで脱気を行います。
ま	マニュアル脱気	適切な脱気度合いを目視で判断し、フットスイッチを踏む操作で脱気を終了させる脱気方法です。
n	n 回 (ガス充填) n 回 (脱気)	VG-602/402 シリーズは最多 99 回の繰り返しガス充填設定ができます。本製品では 1 ~ 99 回の内、ユーザー様が選択される任意の回数を表現するのに「n」という表現を使用しています。
n	NC (配管)	循環式脱気 & ガス充填方式を NC と称しています。循環式脱気 & ガス充填方式を作業方法として選択する時は、製品の配管を変更する必要性があり、循環式脱気 & ガス充填方式用の配管を「NC 配管」と称しています。



8-4 各操作・各設定リファレンス

各作業方法における共通の操作・設定の解説です。

リファレンス・辞書（データファイル）的に確認したい時にご使用ください。

8-4-1 操作方法編：

■ 五十音順

き

起動

- 1 漏電ブレーカーを ON 状態にする



- 2 電源ボタンを ON 状態にする
コンプレッサー、冷却ファン起動



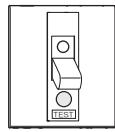
し

終了（作動停止）

- 1 電源ボタンを OFF 状態にする
コンプレッサー、冷却ファン停止



- 2 漏電ブレーカーを「切」にする
機械が停止



- 3 定期的保守項目のチェックする
エアフィルターの清掃など
定期的保守項目は、「12 定期的な点検と保守」を参照してください。
- 4 電源プラグを抜く
長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。

ふ

フットスイッチ操作

VG-602/VG-402 シリーズは操作の進行をフットスイッチを踏むことで進めます。



注！

確実に踏み込まないと次の工程に移らないことがあります。

例えば、圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

8-4-2 設定方法編：

コントロールユニットの各ボタン解説

コントロールユニットでの各設定はそのほとんどを

 MENU ボタン

 ENTER ボタン

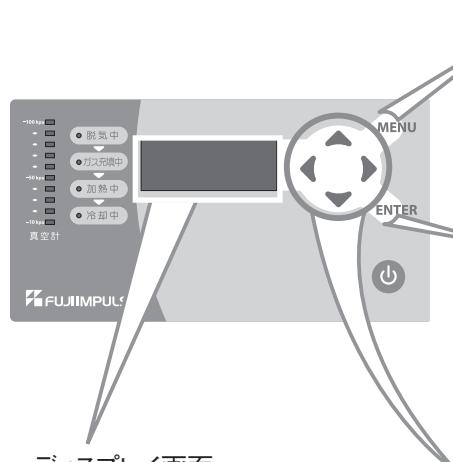
 ▲ ボタン

 ▼ ボタン

 ▶ ボタン

 ▲ ボタン

で行います。



ディスプレイ画面

ディスプレイ画面の表示は、設定内容によって異なりますので、「8-5 各作業手順」を参照してください。

 MENU

MENU ボタン

=各設定メニュー（モード）の「1 トウロク、2 ヘンコウ、3 サクジョ、4NC ハイカン、5 ミズヌキ、6 メンテナンス」を呼び出す時に押します

 ENTER

ENTER ボタン

=各設定を確定する時に押します



上矢印ボタン、下矢印ボタン

=各設定画面を移動する時に押します
=設定数値を増減する時に押します



左矢印ボタン、右矢印ボタン

=各設定画面を移動する時に押します
=各設定位置へカーソルを移動させる時に押します

以下のリファレンスをご利用される前にお読みください

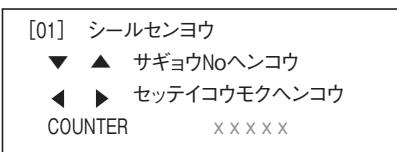
- 以下の設定は、全て漏電ブレーカーがON状態、電源ボタンがON状態に設定してあることを前提にして説明しています。
- ディスプレイ画面イラストでは任意の設定で変化する数値部分を「xx」で表示しています。
- カーソルを合わせた時に点滅している部分の下側に「～」、背景に「●」を付けて表示しています。
- ディスプレイ画面イラストでは選択している作業No.によって内容が異なりますので「●」で表示しています。

8-4-2-1 五十音順

か

カウンター

リセットの方法は、下記の初期画面が表示されている状態で **ENTER** ボタンを3秒間押してください。

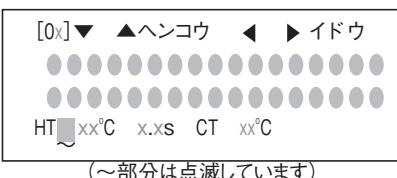


カウンター値を1つ下げたい場合は、**ENTER** ボタンを押してください。

か

加熱温度の設定

- 表示されている作業No.に対して設定を行いたい場合
>> ▶ ボタンを押すと設定項目変更画面に変わりますので、2の説明へ進んでください。



- 現在表示されている作業No.以外の作業No.に対して設定を行いたい場合
>> 『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業No.の選択』を参照して、設定を行いたい作業No.を選択してください。選択ができたら ▶ ボタンを押して2の解説へ進んでください。

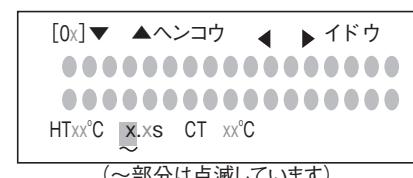
- HTの文字のすぐ右が点滅しています。この状態で加熱温度の数値を上げる場合 ▲ボタン、数値を下げる場合 ▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを一回押すと1°C増減します。押し続けると高速で増減します。
(設定範囲: 60 ~ 250°C)

MEMO 設定温度は、使用される包装フィルム(袋)の材質により適切な溶融温度は異なります。シールができる最低の温度に設定してください。作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えることが出来ます。

か

加熱時間の設定

- 表示されている作業No.に対して設定を行いたい場合
>> ▶ ボタンを押すと設定項目変更画面に変わりますので、2の説明へ進んでください。

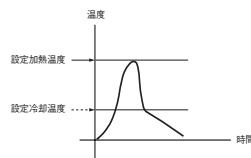


- 現在表示されている作業No.以外の作業No.に対して設定を行いたい場合:
>> 『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業No.の選択』を参照して、設定を行いたい作業No.を選択してください。選択ができたら ▶ ボタンを押して2の解説へ進んでください。

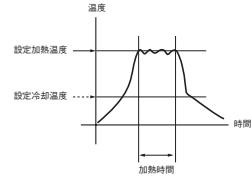
- 2 HT の文字のすぐ右が点滅しています。この状態で ▶ ボタンを押すと、「x.x S」の加熱時間の位置へカーソルが移動します。
加熱時間の数値を上げる場合 ▲ ボタン、数値を下げる場合 ▼ ボタンを押してください。
▲、▼ ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
(設定範囲: 0.0 ~ 2.0 秒)

MEMO 温度制御における加熱時間とは設定した加熱温度を維持させる時間のことです。通常は、加熱時間を設定しなくても(加熱時間を 0.0 秒にしても)シールはできます。包装フィルム(袋)に厚みがあり、加熱温度を上げてもシールができない場合やシールがなくてもフィルムがダメージを受けている場合のみ加熱時間を設定する効果が期待できます。

加熱時間を設定しない場合の加熱温度測定グラフの軌跡



加熱時間を設定した場合の加熱温度測定グラフの軌跡



か

ガス充填の選択

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-2 英数字 >> 1 回ガス充填の選択』または、『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-2 英数字 >> n 回ガス充填の選択』を参照してください。

か

ガス充填タイマー(時間)の設定

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-2 英数字 >> 1 回ガス充填タイマーの設定』または『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-2 英数字 >> n 回ガス充填タイマーの設定』を参照してください。

さ

作業 No. の削除

MEMO 作業 No. の削除中、4 の **ENTER** ボタンを押す前であれば、**ENTER** ボタンを押すと、削除を中止することができます。

- 1 作業 No. が表示されている状態の画面の時に(下記イラストでは「01」シールセンヨウ)

[01] シールセンヨウ
▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
◀ ▶ セッティコウモクヘンコウ
COUNTER XXXXX

ENTER ボタンを押すと次イラストのメニュー画面に変わります。

メニュー ◀▶ センタク MENUモドル
1 トウロク 2 ヘンコウ
3 サクジョ 4 NCハイカン
5 ミズヌキ 6 メンテナンス

- 2 ◀、▶ ボタンで「3 サクジョ」の位置にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押して確定してください。次イラスト画面に変わります。

[0x] ●●●●●●
▼ ▲ サギョウNoセンタク
ENT サクジョ

- 3 この画面で削除する作業 No. を ▲、▼ ボタンで選択します。

- 4 削除したい作業 No. が表示されたら、**ENTER** ボタンを押すと削除されます。

MEMO 削除したデータは元に戻すことができませんので、削除するときはよく確認をしてから行ってください。

MEMO 登録を削除すると、削除した作業 No の次の作業 No. が自動的に一つ前のナンバーに書き変わります。

例)

削除前の登録内容

作業 No1= シール専用
作業 No2= 脱気シール タイマー
作業 No3=1 回ガス マニュアル

「作業 No1 シール専用」を削除すると、

作業 No1= 脱気シール タイマー
作業 No2=1 回ガス マニュアル
作業 No3= 未登録

に変わります。

MEMO 登録してある作業 No が 01 のみの場合、作業 No.01 を削除しようとするディスプレイ画面に「スペテ サクジョ デキマセン」と表示されます。

さ

作業 No. の選択

作業 No. が表示されている状態の画面の時に(下記イラストでは「01」シールセンヨウ)

[01] シールセンヨウ
▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
COUNTER XXXXX

▼ボタンを押すと「1つ前の登録された作業 No の画面」に変わります。▲ボタンを押すと「1つ後の登録された作業 No の画面」に切り替わります。

さ

作業 No. の変更

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択』を参照してください。

し

シール方式の選択・登録・変更

1 作業 No. が表示されている状態の画面の時に(下記イラストでは「01」シールセンヨウ)

[01] シールセンヨウ
▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
COUNTER XXXXX

MENU ボタンを押すと次イラストのメニュー画面に変わります。

メニュー ◀▶ センタク MENUモドル
1 トウロク 2 ヘンコウ
3 サクジョ 4 NCハイカン
5 ミズヌキ 6 メンテナンス

2 ■ 登録の場合:

>> ◀、▶ボタンで「1 トウロク」の位置にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押して確定してください。

次の操作は 3 へ続きます。

■ (登録内容の) 変更の場合:

>> ◀、▶ボタンで「2 ヘンコウ」の位置にカーソルを合わせます。ENTER ボタンを押して確定すると変更したい作業 No. を選択する画面が表示されますので▲、▼ボタンで変更したい作業 No. の画面へ移動し、ENTER ボタンを押して確定してください。

3 次イラストのメニュー画面に変わります。

[0x] シールホウシキ ◀▶ センタク
1 シールセンヨウ 2 ダッキシール
3 1カイガス 4 nカイガス
5 ジュンカン

※ 「5 ジュンカン」は、NC 配管を有効にしている時のみ表示されます。

4 ◀、▶ボタンで「1 シールセンヨウ」「2 ダッキシール」「3 1カイガス」「4 nカイガス」「5 ジュンカン」から選択したいシール方式(作業方式)にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押して確定すると加熱温度・時間、冷却温度設定画面に変わりますので必要に応じて各設定を行ってください。

MEMO 「1 シールセンヨウ」以外の登録をする場合は、4 の設定の後『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択』を参照してください。

し

循環ガス(充填)タイマーの設定

■ 循環・真空計脱気の場合:

>> 『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十
音順 >> 循環: 真空計脱気 + ガス充填の
設定』を参照してください。

■ 循環・タイマー脱気の場合:

>> 『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十
音順 >> 循環: タイマー脱気 + ガス充填の
設定』を参照してください。

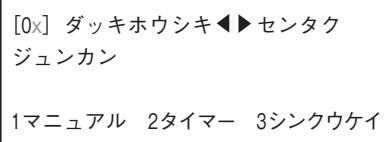
■ 循環・マニュアル脱気の場合:

>> 『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十
音順 >> 循環: マニュアル脱気 + ガス充填
の設定』を参照してください。

し

循環：真空計脱気 + ガス充填の設定

- 1 『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 循環ガス充填方式の選択』での手順 6 まで進んだ後、次イラストの脱気方式を選択する画面で ▶ ボタンで「3 シンクウケイ」の位置にカーソルを合わせて、**ENTER** ボタンを押して確定してください。



- 2 次イラストの設定画面になり、「1VG」=真空度の設定位置にカーソルがあります。



(～部分は点滅しています)

真空度の数値を上げる場合 ▲ ボタン、数値を下げる場合 ▼ ボタンを押してください。
(設定範囲: -1 ~ -100kPa)

- 3 次に「1回目のガス充填時間」を設定します。
▶ ボタンでカーソルを次イラストの位置の「Gxx.x sec」に合わせて、1回目ガス充填時間の数値を上げる場合 ▲ ボタン、数値を下げる場合 ▼ ボタンを押してください。(設定範囲: 0.1 ~ 99.9 秒)



(～部分は点滅しています)

- 4 次に「循環ガス充填時間」を設定します。▶ ボタンでカーソルを次イラストの位置の「GCTxx.x sec」に合わせて、循環ガス充填時間の数値を上げる場合 ▲ ボタン、数値を下げる場合 ▼ ボタンを押してください。(設定範囲: 0.1 ~ 99.9 秒)



(～部分は点滅しています)

- 5 次に「2回目ガス充填時間」を設定します。▶ ボタンでカーソルを次イラストの位置の「Gxx.x sec」に合わせて、循環ガス充填時間の数値を上げる場合 ▲ ボタン、数値を下げる場合 ▼ ボタンを押してください。(設定範囲: 0.0 ~ 99.9 秒)



(～部分は点滅しています)

し

循環：タイマー脱気 + ガス充填の設定

- 1 『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 循環ガス充填方式の選択』での手順6まで進んだ後、次イラストの脱気方式を選択する画面で▶ボタンで「2 タイマー」の位置にカーソルを合わせて、**ENTER**ボタンを押して確定してください。

[0x] ダッキホウシキ◀▶センタク
ジュンカン

1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ

- 2 次イラストの設定画面になり、「1VT」=真空タイマー設定位置にカーソルがあります。

[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VT~~xx~~.xsec G~~xx~~.xsec
GCT~~xx~~.xsec G~~xx~~.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C

(～部分は点滅しています)

真空タイマーの数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
(設定範囲:0.1 ~ 99.9 秒)

- 3 次に「1回目のガス充填時間」を設定します。
▶ボタンでカーソルを次イラストの位置「Gxx.x sec」に合わせてください。1回目ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:0.1 ~ 99.9 秒)

[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VT~~xx~~.xsec G~~xx~~.xsec
GCT~~xx~~.xsec G~~xx~~.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C

(～部分は点滅しています)

- 4 次に「循環ガス充填時間」を設定します。▶ボタンでカーソルを次イラストの位置の「GCTxx.x sec」に合わせて、循環ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:0.1 ~ 99.9 秒)

[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VT~~xx~~.xsec G~~xx~~.xsec
GCT~~xx~~.xsec G~~xx~~.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C

(～部分は点滅しています)

- 5 次に「2回目ガス充填時間」を設定します。▶ボタンでカーソルを次イラストの位置の「Gxx.x sec」に合わせて、循環ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:0.0 ~ 99.9 秒)

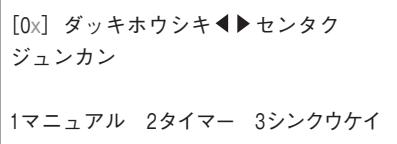
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VT~~xx~~.xsec G~~xx~~.xsec
GCT~~xx~~.xsec G~~xx~~.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C

(～部分は点滅しています)

し

循環：マニュアル脱気 + ガス充填の設定

- 1 『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順
>> 循環ガス充填方式の選択』での手順 6 まで進んだ後、次イラストの脱気方式を選択する画面で ▶ ボタンで「1 マニュアル」の位置にカーソルを合わせて、**ENTER** ボタンを押して確定してください。



- 2 次イラストの設定画面になり、「1 回目のガス充填時間」設定位置にカーソルがあります。1 回目ガス充填時間の数値を上げる場合 ▲ ボタン、数値を下げる場合 ▼ ボタンを押してください。

(設定範囲: 0.1 ~ 99.9 秒)



(～部分は点滅しています)

- 3 次に「循環ガス充填時間」を設定します。▶ ボタンでカーソルを次イラストの位置の「GCTxx.x sec」に合わせて、循環ガス充填時間の数値を上げる場合 ▲ ボタン、数値を下げる場合 ▼ ボタンを押してください。(設定範囲: 0.1 ~ 99.9 秒)



(～部分は点滅しています)

- 4 次に「2 回目ガス充填時間」を設定します。▶ ボタンでカーソルを次イラストの位置の「Gxx.x sec」に合わせて、循環ガス充填時間の数値を上げる場合 ▲ ボタン、数値を下げる場合 ▼ ボタンを押してください。(設定範囲: 0.0 ~ 99.9 秒)



(～部分は点滅しています)

し

「循環真空計脱気 + ガス充填 + シール」の選択・設定・登録

『8-5 各作業手順』の「8-5-13 循環真空計脱気 + ガス充填 + シール」を参照してください。

し

「循環タイマー脱気 + ガス充填 + シール」の選択・設定・登録

『8-5 各作業手順』の「8-5-12 循環タイマー脱気 + ガス充填 + シール」を参照してください。

し

「循環マニュアル脱気 + ガス充填 + シール」の選択・設定・登録

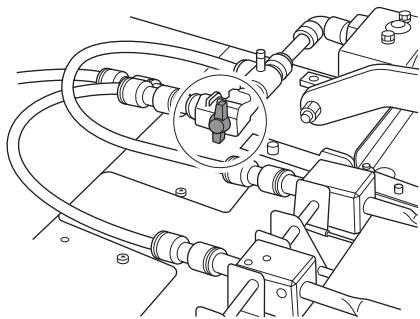
『8-5 各作業手順』の「8-5-11 循環マニュアル脱気 + ガス充填 + シール」を参照してください。

し

循環ガス充填方式の選択

手順1から3は、はじめてNC配管の設定をする時。または、NC配管の設定を無効にしている時に行なってください。

- 1 本体カバーを上に持ち上げてください。
- 2 NC配管切り替え用ツマミを下イラストのように垂直にしてください。



- 3 1で持ち上げた本体カバーを元の位置におろしてください。
- 4 作業No.が表示されている状態の画面の時に（下記イラストでは「01」シールセンヨウ）

[01]	シールセンヨウ
▼	▲ サギヨウNoヘンコウ
◀	▶ セッティコウモクヘンコウ
COUNTER	XXXXX

MENU ボタンを押すと次のメニュー画面に変わります。

メニュー ◀▶ センタク MENUモドル
1 トウロク 2 ヘンコウ
3 サクジョ 4 NCハイカン
5 ミズヌキ 6 メンテナンス

- 5 ◀、▶ボタンで「4 NCハイカン」の位置にカーソルを合わせを ENTER ボタンを押して確定します。

- 6 次イラストのNCハイカンの画面に変わりますので▶ボタンで「2 ユウコウ」（=有効）の位置にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定します。

NCハイカン ◀▶ キーデ センタク
ENTキーデ ケッティ
1 ムコウ 2 ユウコウ
ハイカン カクニン

（～部分は点滅しています）

（はじめてNC配管の設定をする時は「1 ムコウ（無効）」の位置でカーソルが点滅しています。）

- 7 脱気方式を選択する次イラストの画面に変わりますので「1 マニュアル（脱気）」「2 タイマー（脱気）」「3 シンクウケイ（脱気）」から使用したい脱気方式を選択してください。

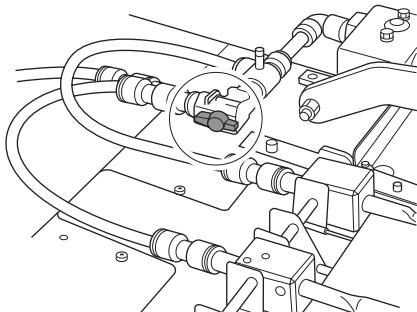
[0x] ダッキホウシキ ◀▶ センタク
ジュンカン
1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ

- 8 この後の「循環ガス充填時間」の設定は『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 循環ガス（充填）タイマーの設定』を参照してください。

し

循環ガス充填方式の選択を無効にする場合

- 1 本体カバーを上に持ち上げてください。
- 2 NC 配管切り替え用ツマミを下イラストのように水平にしてください。



- 3 1で持ち上げた本体カバーを元の位置におろしてください。
- 4 作業 No. が表示されている状態の画面の時に(下記イラストでは「01」シールセンヨウ)

[01] シールセンヨウ	
▼ ▲ サギヨウNoヘンコウ	
◀ ▶ セッティコウモクヘンコウ	
COUNTER	XXXXX

MENU ボタンを押すと次のメニュー画面に変わります。

メニュー ◀▶ センタク MENUモドル
1 トウロク 2 ヘンコウ
3 サクジョ 4 NCハイカン
5 ミズヌキ 6 メンテナンス

- 5 ◀、▶ ボタンで「4 NC ハイカン」の位置にカーソルを合わせを **ENTER** ボタンを押して確定すると次イラストの画面に変わります。

NCハイカン ◀▶ キーデ センタク
ENTキーデ ケッティ
1 ムコウ 2 ユウコウ
ハイカン カクニン

(～部分は点滅しています)

- 6 次イラストの NC 配管設定画面に変わりますので ◀ ボタンで「1 ムコウ」(=無効) の位置にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押して確定します。

NCハイカン ◀▶ キーデ センタク
ENTキーデ ケッティ
1 ムコウ 2 ユウコウ

(～部分は現在選択している方を点滅しています)

し

循環真空計脱気 + ガス充填方式の選択

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 循環ガス充填方式の選択』を参照してください。

し

循環タイマー脱気 + ガス充填方式の選択

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 循環ガス充填方式の選択』を参照してください。

し

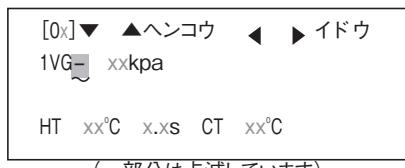
循環マニュアル脱気 + ガス充填方式の選択

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 循環ガス充填方式の選択』を参照してください。

し

真空度の設定

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択』を参照して、「2 ダッキシール >> 3 シンクウケイ」を選択すると次イラストの画面に変わります。



真空度設定位置にカーソルが来ますので「1VG」真空度(の数値)を上げる場合▲ボタン、真空度を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:-1 ~ -100kPa)

た

タイマー脱気の選択

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択』を参照してください。

た

脱気タイマー(時間)の設定

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択』を参照して、「タイマー脱気」の作業を選択してください。

「2 タイマー」の位置にカーソルを合わせてENTERボタンを押して確定すると次の脱気タイマー設定画面に変わります。



「1VT」脱気タイマーの数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:0.1 ~ 99.9秒)

n回脱気タイマーの設定はn回ガス充填を選択した場合のみ設定可能で、設定方法は『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> n回ガス充填タイマーの設定』に記載しています。

し

真空計脱気の選択

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択』を参照してください。

し

「真空計脱気+シール」の選択・設定・登録

『8-5 各作業手順』の「8-5-4 真空計脱気+シール」を参照してください。

し

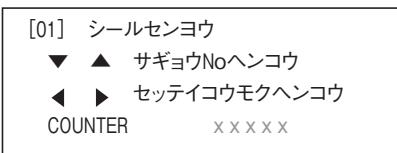
「真空計脱気+1回ガス充填」の選択・設定・登録

『8-5 各作業手順』の「8-5-7 (1回) 真空計脱気+ガス充填+シール」を参照してください。

た

脱気方式の選択

- 1 作業 No. が表示されている状態の画面の時に
(下記イラストでは「01」シールセンヨウ)



MENU ボタンを押すと次イラストのメニュー画面に
変わります。



- 2 ■ 登録の場合:

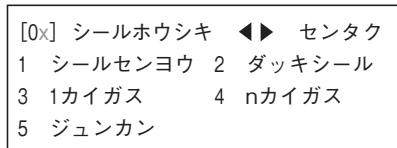
>> ◀、▶ ボタンで「1 トウロク」の位置にカーソルを合わせます。

次の操作は 3 へ続きます。

- (登録内容の) 変更の場合:

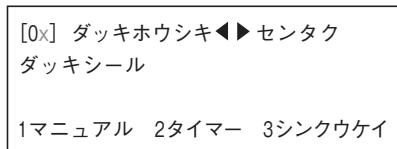
>> ◀、▶ ボタンで「2 ヘンコウ」の位置にカーソルを合わせます。 ENTER ボタンを押して確定すると変更したい作業 No. を選択する次の画面が表示されますので、 ▼ ボタンで選択したい作業 No. の画面へ移動し、 ENTER ボタンを押して確定してください。

- 3 ENTER ボタンを押して確定すると次イラストのメニュー画面に変わります。



※ 「5 ジュンカン」は、 NC 配管を有効にしている時のみ表示されます。)

- 4 ◀、▶ ボタンで「2 ダッキシール」にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押して確定すると次イラストのメニュー画面に変わります。



◀、▶ ボタンで「1 マニュアル」「2 タイマー」「3 シンクウケイ」から選択したい脱気方式にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押して確定すると加熱温度・時間、冷却温度設定画面に変わりますので必要に応じて各設定を行ってください。

た

「タイマー脱気 + シール」の選択・設定・登録

『8-5 各作業手順』の「8-5-3 タイマー脱気 + シール」を参照してください。

た

「タイマー脱気 + (1回) ガス充填」の選択・設定・登録

『8-5 各作業手順』の「8-5-6 (1回) タイマー脱気 + ガス充填」を参照してください。

ま

マニュアル脱気の選択

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択』を参照してください。

ま

「マニュアル脱気 + (1回) ガス充填」の選択・設定・登録

『8-5 各作業手順』の「8-5-5 (1回) マニュアル脱気 + ガス充填」を参照してください。

み

水抜き ON/OFF の設定

- 1 作業 No. が表示されている状態の画面の時に
(下記イラストでは「01」シールセンヨウ)

[01] シールセンヨウ
▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
◀ ▶ セッティコウモクヘンコウ
COUNTER XXXXX

MENU ボタンを押すと次イラストのメニュー画面に
変わります。

メニュー ◀▶ センタク MENU モドル
1 トウロク 2 ヘンコウ
3 サクジョ 4 NCハイカン
5 ミズヌキ 6 メンテナンス

- 2 ◀、▶ ボタンで「5 ミズヌキ(=水抜き)」の位置にカーソルを合わせます。ENTER ボタンを押して確定すると、水抜き設定を ON/OFF にする次イラストの設定画面に変わります。(次イラストは OFF 状態)

ミズヌキ ◀▶ キーデ センタク
ENTキーデ ケッティ
1 OFF 2 ON

(～部分は現在選択している方を点滅しています)

- 3 ◀、▶ボタンでONまたはOFFの位置にカーソル合わせて、ENTERボタンを押して確定します。

め

メンテナンスモードの選択

- 1 作業 No. が表示されている状態の画面の時に
(下記イラストでは「01」シールセンヨウ)

[01] シールセンヨウ
▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
◀ ▶ セッティコウモクヘンコウ
COUNTER XXXXX

MENU ボタンを押すと次イラストのメニュー画面に
 変わります。

メニュー ◀▶ センタク MENU モドル
1 トウロク 2 ヘンコウ
3 サクジョ 4 NCハイカン
5 ミズヌキ 6 メンテナンス

- 2 ◀、▶ ボタンで「6 メンテナンス」の位置にカーソルを合わせます。ENTER ボタンを押して確定すると、メンテナンスマード設定を ON/OFF にする次イラストの設定画面に変わります。(次イラストは OFF 状態)

[0x] メンテナンスモード
◀▶ キーデ センタク
ENTキーデ ケッティ
1 OFF 2 ON

(～部分は現在選択している方を点滅しています)

- 3 ▶ ボタンで ON の位置にカーソル合わせて、
ENTER ボタンを押して確定すると次イラストのメンテナنسモードの画面に変わります。

The screenshot shows a maintenance mode menu. At the top, there is a header with the text "[0x]" followed by a series of gray circles. Below the header, the text "メンテナンスマード" (Maintenance Mode) is displayed. A list of items is shown, each consisting of a letter (X or Y) followed by a small black square icon and a series of gray squares. The items are arranged in two columns. The first column contains X followed by a series of 8 gray squares, and Y followed by a series of 8 gray squares. The second column contains a series of 12 gray squares followed by another series of 12 gray squares.

(■部分はON、□部分はOFFを表しています)

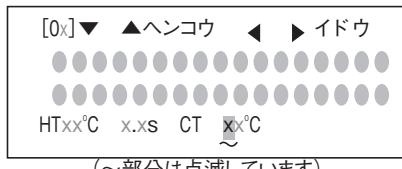
上記のメンテナンスマードの画面につきましては「15-4 トラブル発生時は、メンテナンスマードを活用してください」を参照してください。

れ

冷却温度の設定

- 1 ■ 現在表示されている作業 No. に対して設定を行いたい場合：

>> ▶ ボタンを押すと設定項目変更画面に変わりますので、2 の説明へ進んでください。次イラストグレー楕円表示文字は選択している作業 No. によって表示されている内容が異なるためここでは表記していません。



(～部分は点滅しています)

- 現在表示されている作業 No. 以外の作業 No. に対して設定を行いたい場合：

>> 『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択』を参照して、設定を行いたい作業 No. を選択してください。選択ができたら ▶ ボタンを押して 2 の説明へ進んでください。

- 2 HT の文字のすぐ右が点滅しています。この状態で ▶ ボタンを 2 回押すと、カーソルが移動し CT の文字のすぐ右が点滅します。

冷却温度の数値を上げる場合 ▲ ボタン、数値を下げる場合 ▼ ボタンを押してください。

▲、▼ ボタンを 1 回押すと 1°C 増減します。押し続けると高速で増減します。

(設定範囲：40°C～加熱温度設定値)

注！ 設定温度を極端に高く設定すると、美しく丈夫なシールができませんのでフィルムに合った温度設定にしてください。

△ 警告 極端な設定にしようとすると、下記の警告がディスプレイ画面に 4 秒間表示されます。

WARNING!
レイキャクオンド ハ
ジュウブンニ サゲテ
シヨウ シテ クダサイ

8-4-2-2 英数字

1

1回ガス充填タイマーの設定

- 『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-2 英数字 >> 1回ガス充填の選択』を参照して、1回ガス充填を選択してください。
- 『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択』を参照して、脱気方式を選択してください。
- ガス充填タイマー設定位置にカーソルを合わせてください。
次のイラストは脱気方式にマニュアル脱気を選択した状態で、すでにガス充填タイマー設定位置にカーソルがありますのでカーソルを合わせる必要はありません。

[0x] ▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1V MANUAL G~~xx~~.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C

(～部分は点滅しています)

タイマー脱気、真空計脱気を選択した時は、カーソルをガス充填タイマー設定位置に◀、▶ボタンで合わせてください。

次のイラストはタイマー脱気を選んだ時のディスプレイ画面です。

[0x] ▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VTxx.xsec G~~xx~~.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C

(～部分は点滅しています)

- ガス充填タイマーの数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲: 0.1 ~ 99.9 秒)

1

1回ガス充填の選択

- 作業 No. が表示されている状態の画面の時に(下記イラストでは「01」シールセンヨウ)

[01] シールセンヨウ
▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
◀ ▶ セッティコウモクヘンコウ
COUNTER XXXXX

MENU ボタンを押すと次イラストのメニュー画面に変わります。

メニュー ◀▶ センタク MENUモドル
1 トウロク 2 ヘンコウ
3 サクジョ 4 NCハイカン
5 ミズヌキ 6 メンテナンス

- 登録の場合:

>> ◀、▶ボタンで「1 トウロク」の位置にカーソルを合わせて、ENTERボタンを押して確定してください。

次の操作は3へ続きます。

- (登録内容)の変更の場合:

>> ◀、▶ボタンで「2 ヘンコウ」の位置にカーソルを合わせます。ENTERボタンを押して確定すると変更したい作業 No. を選択する次の画面が表示されますので▲、▼ボタンで選択したい作業 No. の画面へ移動し、ボタンを押して確定してください。

- 次イラストのメニュー画面に変わります。

[0x] シールホウシキ ◀▶ センタク
1 シールセンヨウ 2 ダッキシール
3 1カイガス 4 nカイガス
5 ジュンカン

※ 「5 ジュンカン」は、NC配管を有効にしている時のみ表示されます。)

- ◀、▶ボタンで「3 1カイガス」にカーソルを合わせENTERボタンを押して確定すると次イラストのメニュー画面に変わります。

[0x] ダッキホウシキ◀▶センタク
1カイガス
1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ

5 ◀、▶ ボタンで「1 マニュアル」「2 タイマー」「3 シンクウケイ」から選択したい脱気方式にカーソルを合わせ **ENTER** ボタンを押して確定すると加熱温度・時間、冷却温度設定画面に変わりますので必要に応じて各設定を行ってください。

MEMO 「1 シールセンヨウ」以外の登録をする場合は、5の設定の後『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択』を参照してください。

1

1回脱気タイマー（時間）の設定

『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 脱気タイマー（時間）の設定』を参照してください。

1

「1回真空計脱気 + ガス充填」の選択・設定・登録
『8-5 各作業手順』の「8-5-7（1回）真空計脱気 + ガス充填 + シール」を参照してください。

1

「1回タイマー脱気 + ガス充填」の選択・設定・登録
『8-5 各作業手順』の「8-5-6（1回）タイマー脱気 + ガス充填 + シール」を参照してください。

1

「1回マニュアル脱気 + ガス充填」の選択・設定・登録

『8-5 各作業手順』の「8-5-5（1回）マニュアル脱気 + ガス充填 + シール」を参照してください。

n

n 回ガス充填タイマーの設定

MEMO

n 回ガス充填タイマーは「1回」から「n マイナス1回」までの数値設定が同じになります。5回ガス充填の場合、1回目のガス充填時間と5回目のガス充填時間だけが異なる数値に設定でき、1～4回目までは同じ数値になります。

1 『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-2 英数字 >> n 回ガス充填の選択』を参照して、n回ガス充填を選択してください。

2 『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択』を参照して、脱気方式を選択してください。

3 ■ 脱気方式に「マニュアル脱気」を選択した場合

>>

・「1回」～「n マイナス1回」のガス充填時間を設定します。ガス充填タイマーの数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:0.1～99.9秒)

[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1V MANUAL Gxx.xsec
xxV MANUAL Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C

(～部分は点滅しています)

・カーソルを脱気・ガス充填回数設定位置(=次イラスト「V」の前)に▶ボタンで合わせてください。脱気・ガス充填回数の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:2～99回)

[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1V MANUAL Gxx.xsec
xxV MANUAL Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C

(～部分は点滅しています)

・カーソルを n 回目ガス充填時間設定位置(=次イラストの「Gxx.x sec」)に▶ボタンで合わせてください。ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:0.0～99.9秒)

[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1V MANUAL Gxx.xsec
xxV MANUAL Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C

(～部分は点滅しています)

■ 脱気方式に「タイマー脱気」を選択した場合

>>

・「1回」～「n マイナス1回」の脱気時間を設定します。脱気時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:0.1～99.9秒)

[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VTxx.xsec Gxx.xsec
xxVTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C

(～部分は点滅しています)

・「1回」～「n マイナス1回」のガス充填時間を設定します。ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:0.1～99.9秒)

[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VTxx.xsec Gxx.xsec
xxVTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C

(～部分は点滅しています)

・カーソルを脱気・ガス充填回数設定位置(=次イラスト「VT」の前)に▶ボタンで合わせてください。脱気・ガス充填回数の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:2～99回)

[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VTxx.xsec Gxx.xsec
xxVTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C

(～部分は点滅しています)

- ・「n回目」の脱気時間を設定します。脱気時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:0.1 ~ 99.9秒)

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VTxx.xsec Gxx.xsec
xxVTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
(～部分は点滅しています)
```

- ・「n回目」のガス充填時間を設定します。ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:0.0 ~ 99.9秒)

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VTxx.xsec Gxx.xsec
xxVTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
(～部分は点滅しています)
```

■ 脱気方式に「真空計脱気」を選択した場合

>>

- ・「1回」～「nマイナス1回」の真空度を設定します。真空度の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:-1 ~ -100kPa)

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VGxx kpa Gxx.xsec
xxVG- xxkpa Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
(～部分は点滅しています)
```

- ・「1回」～「nマイナス1回」のガス充填時間を設定します。ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:0.1 ~ 99.9秒)

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VG- xxkpa Gxx.xsec
xxVG- xxkpa Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
(～部分は点滅しています)
```

- ・カーソルを脱気・ガス充填回数設定位置(=次イラスト「VT」の前)に▶ボタンで合わせてください。脱気・ガス充填回数の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:2 ~ 99回)

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VG- xxkpa Gxx.xsec
xxVG- xxkpa Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
(～部分は点滅しています)
```

- ・「n回目」の真空度を設定します。真空度の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:-1 ~ -100kPa)

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VG- xxkpa Gxx.xsec
xxVG- xxkpa Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
(～部分は点滅しています)
```

- ・「n回目」のガス充填時間を設定します。ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。(設定範囲:0.0 ~ 99.9秒)

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
1VG- xxkpa Gxx.xsec
xxVG- xxkpa Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
(～部分は点滅しています)
```

- 4 次に加熱温度・時間、冷却温度設定画面に変わりますので必要に応じて各設定を行ってください。

n

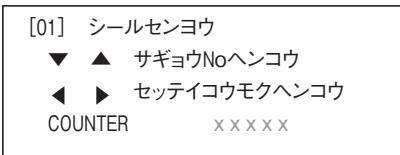
n 回ガス充填の選択

= n 回マニュアル脱気の選択

= n 回タイマー脱気の選択

= n 回真空計脱気の選択

- 1 作業 No. が表示されている状態の画面の時に
(下記イラストでは「01」シールセンヨウ)



ENTER ボタンを押すと次イラストのメニュー画面に
変わります。



- 2 ■ 登録の場合：

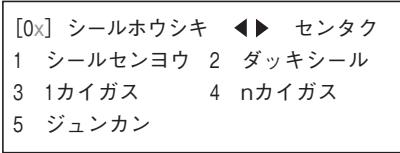
>> ◀、▶ ボタンで「1 トウロク」の位置にカーソルを合わせ **ENTER** ボタンを押して確定します。

次の操作は 3 へ続きます。

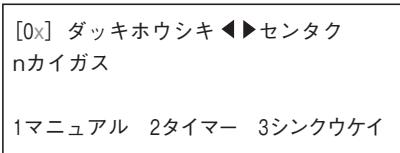
■ (登録内容) 変更の場合：

>> ◀、▶ ボタンで「2 ヘンコウ」の位置にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押して確定しますと変更したい作業 No. を選択する次の画面が表示されますので ▲、▼ ボタンで選択したい作業 No. の画面へ移動し、**ENTER** ボタンを押して確定してください。

- 3 次イラストのメニュー画面に変わります。



- 4 ◀、▶ ボタンで「4 n カイガス」にカーソルを合わせ **ENTER** ボタンを押して確定すると次イラストの脱気方式を選択する画面に変わります。



- 5 「1 マニュアル」「2 タイマー」「3 シンクウケイ」から選択したい脱気方式にカーソルを ◀、▶ ボタンで合わせて **ENTER** ボタンを押して確定してください。

- 6 以降の設定は『8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> n 回ガス充填タイマーの設定』を参照してください。

n

「n 回真空計脱気 + ガス充填 + シール」の選択・設定・登録

『8-5 各作業手順』の「8-5-7 n 回真空計脱気 + ガス充填 + シール」を参照してください。

n

「n 回タイマー脱気 + ガス充填 + シール」の選択・設定・登録

『8-5 各作業手順』の「8-5-9 n 回タイマー脱気 + ガス充填 + シール」を参照してください。

n

「n 回マニュアル脱気 + ガス充填 + シール」の選択・設定・登録

『8-5 各作業手順』の「8-5-8 n 回マニュアル脱気 + ガス充填 + シール」を参照してください。

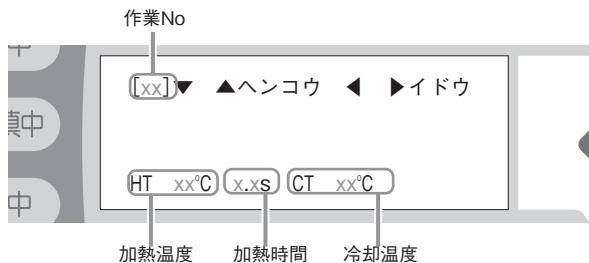
8-5 各作業手順

13種類ある作業方法の組み合わせ別の作業の流れを解説します。

コントローラーの設定を行ったあとは、作業手順を読んでいただくことで、使い方のおおよその流れを確認していくだけができると思います。

8-5-1 《シール専用》作業手順

設定画面の表示内容

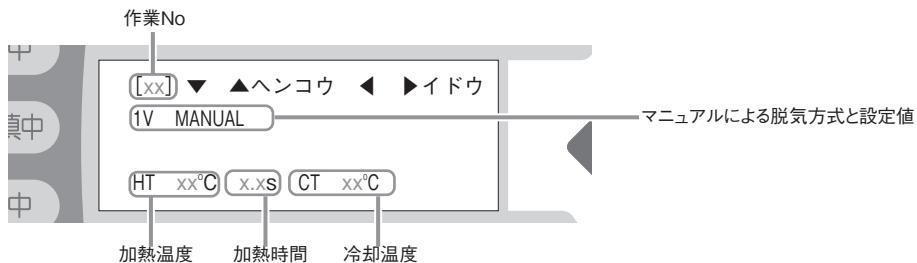


手 順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1 漏電ブレーカーを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
2 電源ボタンを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
3 3-a 登録してある場合 「シールセンヨウ」 の作業 No を選択 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択 3-b の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> シール方式の選択・登録・変更 シール方式=「1 シールセンヨウ」を選択
4 加熱温度設定 (設定範囲 60 ~ 250°C)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定
5 加熱時間設定 (設定範囲 0.0 ~ 2.0 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定
6 冷却温度設定 (設定範囲 40°C ~ 加熱温度設定値)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定
7 シール面に袋をセット	シール位置を確かめながら、袋の両端を整えてください。
8 フットスイッチ (1 回目) を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。(圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください) 注 ! 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

	(「シール専用」 作業手順のつづき)
9 フットスイッチ（2回目）を踏む	<p>2回目のフットスイッチを踏む操作をすると1から5の工程が自動的に行われます。</p> <p>1 圧着レバーがシール面に密着（シール開始）。</p> <p>2 加熱中ランプが点灯。</p> <p> 加熱中</p> <p>3 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。</p> <p> 加熱中  冷却中</p> <p>4 冷却終了 冷却中ランプ消灯</p> <p> 冷却中</p> <p>5 シール完了（圧着レバーが上がります）</p>
10 シール完了	<p>8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止）</p> <p>長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>

8-5-2 《マニュアル（目安）脱気 + シール》作業手順

設定画面の表示内容

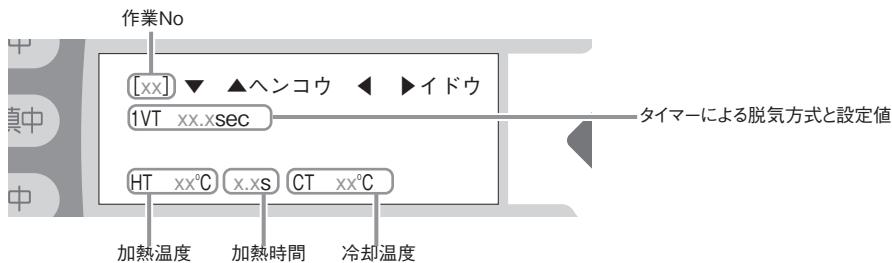


手 順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1 漏電ブレーカーを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
2 電源ボタンを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
3 3-a 登録してある場合 「ダッキシール マニュアル」 の作業 No を選択 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >>8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択 3-b の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >>8-4-2-1 五十音順 >> シール方式の選択・登録・変更、脱 気方式の選択 シール方式=「2 ダッキシール」を選択 脱気方式=「1 マニュアル」を選択
4 加熱温度設定（設定範囲 60 ~ 250°C）	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定
5 加熱時間設定（設定範囲 0.0 ~ 2.0 秒）	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定
6 冷却温度設定（設定範囲 40°C～加熱温度設定値）	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定
7 フットスイッチ（1 回目）を踏む	ノズルが前へ出でます。
8 シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめな がら、袋の両端を整えます。
9 フットスイッチ（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧 着レバーが閉じるまで踏み続けてください）
	注 ! 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離 すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

	(「マニュアル（目安）脱気 + シール」作業手順のつづき)
10 フットスイッチ（3回目）を踏む	脱気が開始され、脱気中ランプが点灯します。 
11 適切な脱気状態（目測判断）になればフットスイッチ（4回目）を踏む	4回目のフットスイッチを踏む操作をすると1から6の工程が自動的に行われます。 1 脱気終了 脱気中ランプ消灯  2 ノズル後退 3 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。 加熱中ランプが点灯。  4 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。   5 冷却終了 冷却中ランプ消灯  6 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
12 シール完了	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止） 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-3 《タイマー脱気 + シール》作業手順

設定画面の表示内容

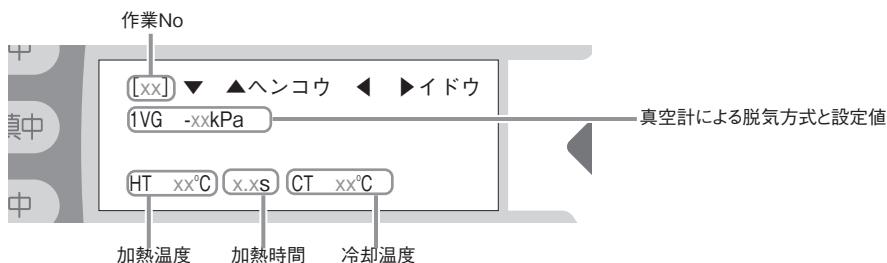


手 順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1 漏電ブレーカーを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
2 電源ボタンを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
3 3-a 登録してある場合 「ダッキシール タイマー」 の 作業 No を選択 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >>8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択 3-b の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >>8-4-2-1 五十音順 >> シール方式の選択・登録・変更、脱 気方式の選択 シール方式=「2 ダッキシール」を選択 脱気方式=「2 タイマー」を選択
4 脱気タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 脱気タイマー (時間) の設定
5 加熱温度設定 (設定範囲 60 ~ 250°C)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定
6 加熱時間設定 (設定範囲 0.0 ~ 2.0 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定
7 冷却温度設定 (設定範囲 40°C~加熱温度設定値)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定
8 フットスイッチ (1 回目) を踏む	ノズルが前へ出でます。
9 シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめな がら、袋の両端を整えます。

	(「タイマー脱気 + シール」作業手順のつづき)
10 フットスイッチ（2回目）を踏む	<p>圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください）</p> <p>注！ 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。</p>
11 フットスイッチ（3回目）を踏む	<p>3回目のフットスイッチを踏む操作をすると1から7の工程が自動的に行われます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 脱気開始 脱気中ランプ点灯  2 脱気タイマーで設定してある脱気時間が経過すると脱気終了。脱気中ランプ消灯  3 ノズル後退 4 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。 加熱中ランプが点灯。  5 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。   6 冷却終了 冷却中ランプ消灯  7 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
12 シール完了	<p>8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止）</p> <p>長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>

8-5-4 《真空計脱気 + シール》作業手順

設定画面の表示内容

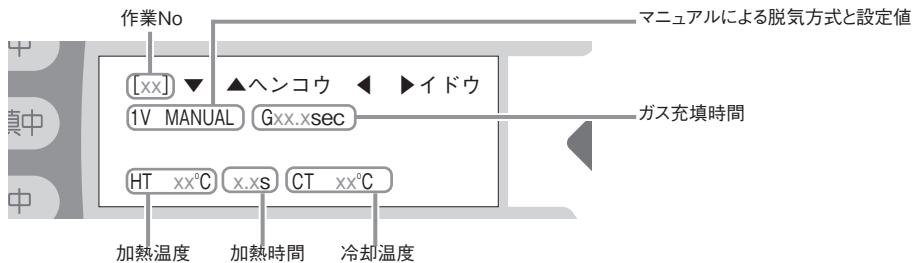


手 順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1 漏電ブレーカーを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
2 電源ボタンを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
3 3-a 登録してある場合 「ダッキシール シンクウケイ」の作業 No を選択 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択 3-b の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> シール方式の選択・登録・変更、脱気方式の選択 シール方式=「2 ダッキシール」を選択 脱気方式=「3 シンクウケイ」を選択
4 真空度の設定 (設定範囲 -10 ~ -100kPa)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 真空度の設定
5 加熱温度設定 (設定範囲 60 ~ 250°C)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定
6 加熱時間設定 (設定範囲 0.0 ~ 2.0 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定
7 冷却温度設定 (設定範囲 40°C~加熱温度設定値)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定
8 フットスイッチ (1 回目) を踏む	ノズルが前へ出でます。
9 シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

	(「真空計脱気 + シール」作業手順のつづき)
10 フットスイッチ（2回目）を踏む	<p>圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください）</p> <p>注！ 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。</p>
11 フットスイッチ（3回目）を踏む	<p>3回目のフットスイッチを踏む操作をすると1から7の工程が自動的に行われます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 脱気開始 脱気中ランプ点灯  2 設定した真空度に到達すると脱気終了。脱気中ランプ消灯  3 ノズル後退 4 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。 加熱中ランプが点灯。  5 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。  6 冷却終了 冷却中ランプ消灯  7 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
12 シール完了	<p>8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止）</p> <p>長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>

8-5-5 《1回マニュアル脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容

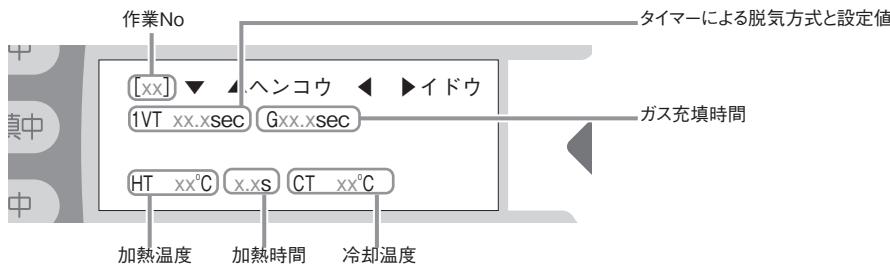


手 順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1 漏電ブレーカーを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
2 電源ボタンを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
3 3-a 登録してある場合 「1 カイガス マニュアル」 の 作業 No を選択	3-a の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択
3-b 登録していない場合は登録をする	3-b の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> シール方式の選択・登録・変更 ・シール方式=「3 1 カイガス」を選択・・・8-4-2-2 英 数字 >> 1回ガス充填の選択を参照してください ・脱気方式=「1 マニュアル」を選択・・・8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択を参照してください
4 ガス充填タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-2 英数字 >> 1回ガス充填タイマーの設定
5 加熱温度設定 (設定範囲 60 ~ 250°C)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定
6 加熱時間設定 (設定範囲 0.0 ~ 2.0 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定
7 冷却温度設定 (設定範囲 40°C~加熱温度設定値)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定
8 フットスイッチ (1回目) を踏む	ノズルが前へ出でます。
9 シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

(「(1回) マニュアル脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき)	
10 フットスイッチ（2回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注！ 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
11 フットスイッチ（3回目）を踏む	脱気開始 脱気中ランプ点灯 
12 適切な脱気状態（目測判断）になればフットスイッチ（4回目）を踏む	4回目のフットスイッチを踏む操作をすると1から8の工程が自動的に行われます。 1 脱気終了。脱気中ランプ消灯  2 ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯  3 ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯  4 ノズル後退 5 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。  6 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。   6 冷却終了 冷却中ランプ消灯  7 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
13 シール完了	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止） 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-6 《1回タイマー脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容



手 順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1 漏電ブレーカーを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
2 電源ボタンを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
3 3-a 登録してある場合 「1 カイガス タイマー」 の作業 No を選択 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択 3-b の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> シール方式の選択・登録・変更 ・シール方式=「3 1 カイガス」を選択・・・8-4-2-2 英数字 >> 1回ガス充填の選択を参照してください ・脱気方式=「2 タイマー」を選択・・・8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択を参照してください
4 脱気タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 脱気タイマー (時間) の設定
5 ガス充填タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-2 英数字 >> 1回ガス充填タイマーの設定
6 加熱温度設定 (設定範囲 60 ~ 250°C)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定
7 加熱時間設定 (設定範囲 0.0 ~ 2.0 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定
8 冷却温度設定 (設定範囲 40°C ~ 加熱温度設定値)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定
9 フットスイッチ (1回目) を踏む	ノズルが前へ出でます。
10 シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

	(「(1回) タイマー脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき)
11 フットスイッチ（2回目）を踏む	<p>圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください）</p> <p>注！ 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。</p>
12 フットスイッチ（3回目）を踏む	<p>3回目のフットスイッチを踏む操作をすると1から9の工程が自動的に行われます。</p> <p>1 脱気開始。脱気中ランプ点灯 </p> <p>2 脱気タイマーで設定した時間が経過すると脱気終了。脱気中ランプ消灯 </p> <p>3 ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯 </p> <p>4 ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯 </p> <p>5 ノズル後退</p> <p>6 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。 </p> <p>7 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。  </p> <p>8 冷却終了 冷却中ランプ消灯 </p> <p>9 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）</p>
13 シール完了	<p>8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止）</p> <p>長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>

8-5-7 《1回真空計脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容

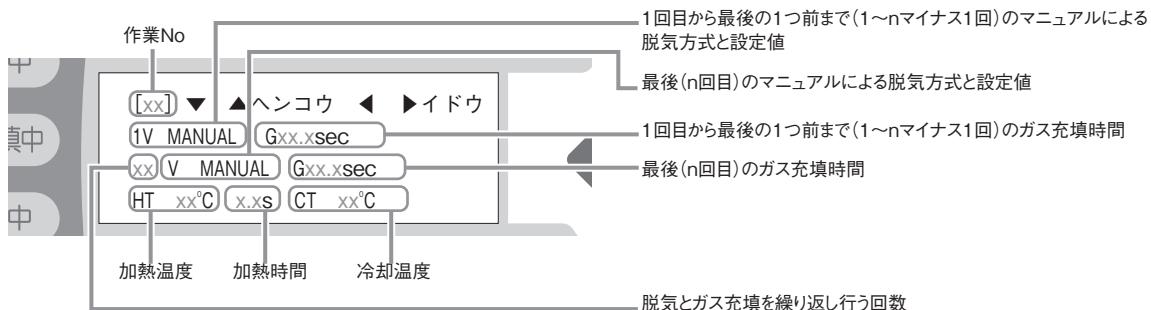


手 順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1 漏電ブレーカーを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
2 電源ボタンを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
3 3-a 登録してある場合 「1 カイガス シンクウケイ」の作業 No を選択 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択 3-b の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> シール方式の選択・登録・変更 ・シール方式=「3 1 カイガス」を選択・・・8-4-2-2 英数字 >> 1回ガス充填の選択を参照してください ・脱気方式=「3 シンクウケイ」を選択・・・8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択を参照してください
4 真空度の設定 (設定範囲 -1 ~ -100kPa)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 真空度の設定
5 ガス充填タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-2 英数字 >> 1回ガス充填タイマーの設定
6 加熱温度設定 (設定範囲 60 ~ 250°C)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定
7 加熱時間設定 (設定範囲 0.0 ~ 2.0 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定
8 冷却温度設定 (設定範囲 40°C~加熱温度設定値)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定
9 フットスイッチ (1回目) を踏む	ノズルが前へ出でます。
10 シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

(「(1回) 真空計脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき)	
11 フットスイッチ（2回目）を踏む	<p>圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください）</p> <p>注！ 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。</p>
12 フットスイッチ（3回目）を踏む	<p>3回目のフットスイッチを踏む操作をすると1から9の工程が自動的に行われます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 脱気開始。脱気中ランプ点灯  脱気中 脱気中真圧度をレベルメーターで確認できます。 2 設定した真圧度に到達すると脱気終了。脱気中ランプ消灯  ●脱気中 3 ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯  ガス充填中 ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯 4 ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯  ●ガス充填中 5 ノズル後退 6 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。  加熱中 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 7 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。  ●加熱中  冷却中 8 冷却終了 冷却中ランプ消灯  ●冷却中 9 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
13 シール完了	<p>8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止）</p> <p>長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>

8-5-8 《n 回マニュアル脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容 (n とは、脱気とガス充填を繰り返し行う任意の回数のことを表しています。)

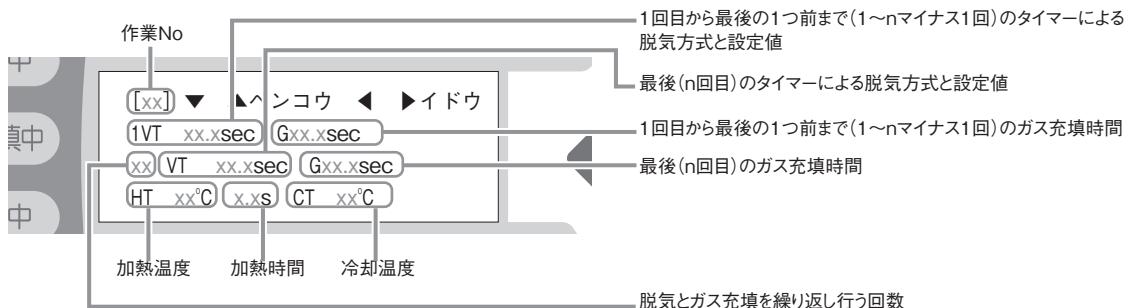


手 順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1 漏電ブレーカーを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
2 電源ボタンを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
3 3-a 登録してある場合 「xx ガス マニュアル」 の作業 No を選択 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択 3-b の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> シール方式の選択・登録・変更 ・シール方式=「4 n カイガス」を選択・・・8-4-2-2 英数字 >> n 回ガス充填の選択を参照してください ・脱気方式=「1 マニュアル」を選択・・・8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択を参照してください
4 1 ~ 「n マイナス 1」 回目までのガス充填タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-2 英数字 >> n 回ガス充填タイマーの設定
5 脱気・ガス充填回数の設定 (設定範囲 2 ~ 99 回)	
6 n 回目ガス充填タイマーの設定 (設定範囲 0.0 ~ 99.9 秒)	
7 加熱温度設定 (設定範囲 60 ~ 250°C)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定
8 加熱時間設定 (設定範囲 0.0 ~ 2.0 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定
9 冷却温度設定 (設定範囲 40°C~加熱温度設定値)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定
10 フットスイッチ (1 回目) を踏む	ノズルが前へ出でます。
11 シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

(「n回マニュアル脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき	
12 フットスイッチ（2回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注！ 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
13 フットスイッチ（3回目）を踏む	脱気が開始され、脱気中ランプが点灯します。 
14 適切な脱気状態（目測判断）になればフットスイッチ（4回目）を踏む	4回目のフットスイッチを踏む操作をすると1から3の工程が自動的に行われます。 1 脱気終了。脱気中ランプ消灯。1回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。   2 1～「nマイナス1回目」ガス充填タイマーで設定してあるガス充填時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯  3 2回目脱気開始。脱気中ランプが点灯。 
15 適切な脱気状態（目測判断）になればフットスイッチ（5回目）を踏む	14の1から3までの工程が「nマイナス1回」繰り返されます。
16 xx回目のフットスイッチを踏む操作を行いn回目の脱気、ガス充填を行う。 (xxの数値はn回の設定値により異なる不特定数値であること表現しています)	xx回目のフットスイッチを踏む操作をすると1から7の工程が自動的に行われます。 1 n回目の脱気が終了し、脱気中ランプが消灯し、n回目のガス充填が開始されます。ガス充填ランプ点灯。   2 n回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとn回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。  3 ノズル後退 4 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯  7 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。   8 冷却終了 冷却中ランプ消灯  9 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
17 シール完了	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止） 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-9 《n 回タイマー脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容 (n とは、脱気とガス充填を繰り返し行う任意の回数のことを表しています。)

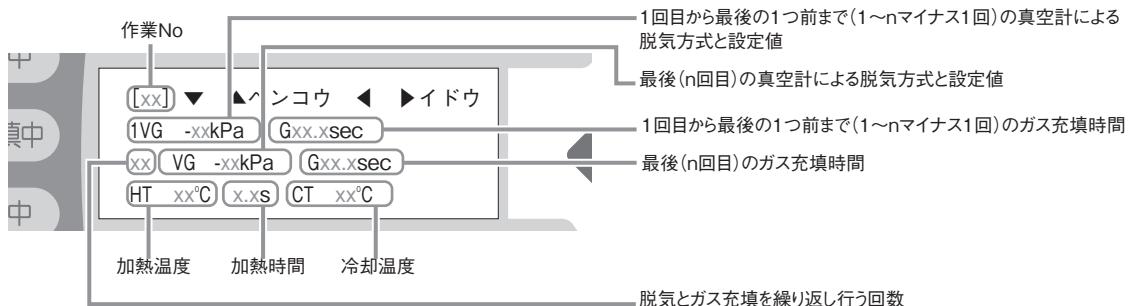


手 順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1 漏電ブレーカーを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
2 電源ボタンを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
3 3-a 登録してある場合 「xx ガス タイマー」 の作業 No を選択	3-a の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択
3-b 登録していない場合は登録をする	3-b の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> シール方式の選択・登録・変更 ・シール方式=「4 n カイガス」を選択・・・8-4-2-2 英数字 >> n 回ガス充填の選択を参照してください ・脱気方式=「2 タイマー」を選択・・・8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択を参照してください
4 1 ~ 「n マイナス 1」 回目までの脱気タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	
5 1 ~ 「n マイナス 1」 回目までのガス充填タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	
6 脱気・ガス充填回数の設定 (設定範囲 2 ~ 99 回)	
7 n 回目脱気タイマーの設定(設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	
8 n 回目ガス充填タイマーの設定 (設定範囲 0.0 ~ 99.9 秒)	
9 加熱温度設定 (設定範囲 60 ~ 250°C)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定
10 加熱時間設定 (設定範囲 0.0 ~ 2.0 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定
11 冷却温度設定 (設定範囲 40°C~加熱温度設定値)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定

		(「n回マニュアル脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき
12	フットスイッチ（1回目）を踏む	ノズルが前へ出でます。
13	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。
14	フットスイッチ（2回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注！ 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
15	フットスイッチ（3回目）を踏む	3回目のフットスイッチを踏む操作をすると1から13の工程が自動的に行われます。 1 1回目脱気開始。脱気中ランプ点灯。  2 1～「nマイナス1回目」までの脱気タイマーで設定した時間が経過すると1回目脱気終了。脱気中ランプ消灯。  3 1回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。  4 1～「nマイナス1回目」までのガス充填タイマーで設定した時間が経過すると1回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。  5 1から5の工程が「nマイナス1回」繰り返されます。 6 n回目脱気開始。脱気中ランプ点灯。  7 n回目脱気タイマーで設定した時間が経過すると脱気終了。脱気中ランプ消灯し、n回目のガス充填が開始されます。ガス充填ランプ点灯。   8 n回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとn回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯  9 ノズル後退 10 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。  11 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。   12 冷却終了 冷却中ランプ消灯  13 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
16	シール完了	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止） 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-10 《n回真空計脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容 (n とは、脱気とガス充填を繰り返し行う任意の回数のことを表しています。)

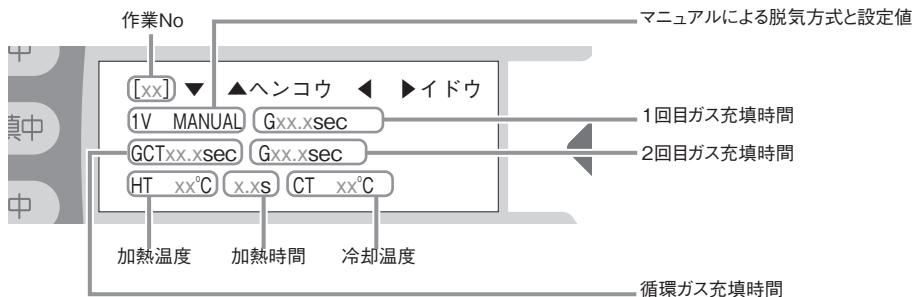


手 順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1 漏電ブレーカーを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
2 電源ボタンを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
3 3-a 登録してある場合 「xx ガス シンクウケイ」 の 作業 No を選択	3-a の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択
3-b 登録していない場合は登録をする	3-b の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> シール方式の選択・登録・変更 ・シール方式=「4 n カイガス」を選択・・・8-4-2-2 英 数字 >> n 回ガス充填の選択を参照してください ・脱気方式=「3 シンクウケイ」を選択・・・8-4-2-1 五十音順 >> 脱気方式の選択を参照してください
4 1 ~ 「n マイナス 1」 回目までの真空度の設定 (設定範囲 -1 ~ -100kPa)	
5 1 ~ 「n マイナス 1」 回目までのガス充填タイマーの設 定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	
6 脱気・ガス充填回数の設定 (設定範囲 2 ~ 99 回)	
7 n 回目真空度の設定 (設定範囲 -1 ~ -100kPa)	
8 n 回目ガス充填タイマーの設定 (設定範囲 0.0 ~ 99.9 秒)	
9 加熱温度設定 (設定範囲 60 ~ 250°C)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定
10 加熱時間設定 (設定範囲 0.0 ~ 2.0 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定
11 冷却温度設定 (設定範囲 40°C ~ 加熱温度設定値)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定

		(「n回真空計脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき)
12	フットスイッチ（1回目）を踏む	ノズルが前へ出でます。
13	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。
14	フットスイッチ（2回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注！ 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
15	フットスイッチ（3回目）を踏む	3回目のフットスイッチを踏む操作をすると1から13の工程が自動的に行われます。 1 1回目脱気開始。脱気中ランプ点灯。  2 設定した1～「nマイナス1回目」までの真空度に達すると1回目脱気終了。脱気中ランプ消灯。  3 1回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。  4 1～「nマイナス1回目」までのガス充填タイマーで設定した時間が経過すると1回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。  5 1から5の工程が「nマイナス1回」繰り返されます。 6 n回目脱気開始。脱気中ランプ点灯。  7 設定した真空度に到達すると脱気終了。脱気中ランプ消灯し、n回目のガス充填が開始されます。ガス充填ランプ点灯。   8 n回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとn回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。  9 ノズル後退 10 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。  11 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。   12 冷却終了 冷却中ランプ消灯  13 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
16	シール完了	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止） 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-11 《循環マニュアル脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容



手 順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1 漏電ブレーカーを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
2 電源ボタンを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
3 3-a 登録してある場合 「ジュンカン マニュアル」 の 作業 No を選択 ▲ 注意 配管が NC 配管になっているかを確認 してください。 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択 3-b の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 循環ガス充填方式の選択 >> 循環: マニュアル脱気 + ガス充填の設定を参照してください
4 1回目ガス充填タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 循環: マニュアル脱気 + ガス充填の設 定
5 循環ガス (充填) タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	
6 2回目ガス充填タイマーの設定 (設定範囲 0.0 ~ 99.9 秒)	
7 加熱温度設定 (設定範囲 60 ~ 250°C)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定
8 加熱時間設定 (設定範囲 0.0 ~ 2.0 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定
9 冷却温度設定 (設定範囲 40°C ~ 加熱温度設定値)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定
10 フットスイッチ (1回目) を踏む	ノズルが前へ出でます。

(「循環マニュアル脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき)	
11 シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。
12 フットスイッチ（2回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注！ 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
13 フットスイッチ（3回目）を踏む	脱気が開始され、脱気中ランプが点灯します。 
14 適切な脱気状態（目測判断）になればフットスイッチ（4回目）を踏む	4回目のフットスイッチを踏む操作をすると1から12の工程が自動的に行われます。 1 脱気終了。脱気中ランプ消灯  2 1回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。  3 1回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。  4 ガス循環開始。脱気中ランプ、ガス充填中ランプ点灯。   5 循環タイマーで設定した時間が経過するとガス循環終了。脱気中ランプ、ガス充填中ランプ消灯。   6 2回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。  7 2回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過すると2回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。  8 ノズル後退 9 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。  10 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。   11 冷却終了 冷却中ランプ消灯  12 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
15 シール完了	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止） 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-12 《循環タイマー脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容

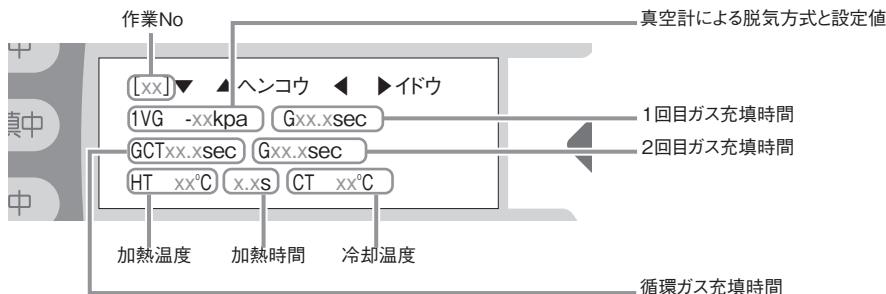


手 順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1 漏電ブレーカーを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
2 電源ボタンを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
3 3-a 登録してある場合「ジュンカン タイマー」の作業 No を選択 ⚠ 注意 配管が NC 配管になっているかを確認してください。 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択 3-b の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 循環ガス充填方式の選択 >> 循環: タイマー脱気 + ガス充填の設定を参照してください
4 脱気タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	
5 1 回目ガス充填タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	
6 循環ガス (充填) タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	
7 2 回目ガス充填タイマーの設定 (設定範囲 0.0 ~ 99.9 秒)	
8 加熱温度設定 (設定範囲 60 ~ 250°C)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定
9 加熱時間設定 (設定範囲 0.0 ~ 2.0 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定
10 冷却温度設定 (設定範囲 40°C~加熱温度設定値)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定

		(「循環タイマー脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき)
11	フットスイッチ（1回目）を踏む	ノズルが前へ出でます。
12	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。
13	フットスイッチ（2回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注！ 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
14	フットスイッチ（3回目）を踏む	3回目のフットスイッチを踏む操作をすると1から13の工程が自動的に行われます。 1 脱気開始。脱気中ランプ点灯。  2 脱気タイマーで設定した時間が経過すると脱気終了。脱気中ランプ消灯  3 1回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。  4 1回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。  5 ガス循環開始。脱気中ランプ、ガス充填中ランプ点灯。   6 循環タイマーで設定した時間が経過するとガス循環終了。脱気中ランプ、ガス充填中ランプ消灯。   7 2回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。  8 2回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過すると2回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。  9 ノズル後退 10 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。  11 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。   12 冷却終了 冷却中ランプ消灯  13 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
15	シール完了	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止） 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-13 《循環真空計脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容



手 順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1 漏電ブレーカーを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
2 電源ボタンを ON	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 : >> 起動
3 3-a 登録してある場合 「ジュンカン シンクウケイ」 の 作業 No を選択 ⚠ 注意 配管が NC 配管になっているかを確認 してください。 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 作業 No. の選択 3-b の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 循環ガス充填方式の選択 >> 循環: タイマー脱気 + ガス充填の設定を参照してください
4 真空度の設定 (設定範囲 -1 ~ -100kPa)	
5 1回目ガス充填タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	
6 循環ガス (充填) タイマーの設定 (設定範囲 0.1 ~ 99.9 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 循環: 真空計脱気 + ガス充填の設定
7 2回目ガス充填タイマーの設定 (設定範囲 0.0 ~ 99.9 秒)	
8 加熱温度設定 (設定範囲 60 ~ 250°C)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定
9 加熱時間設定 (設定範囲 0.0 ~ 2.0 秒)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定
10 冷却温度設定 (設定範囲 40°C ~ 加熱温度設定値)	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 冷却温度の設定

		(「循環真空計脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき)
11	フットスイッチ（1回目）を踏む	ノズルが前へ出でます。
12	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。
13	フットスイッチ（2回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注！ 圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
14	フットスイッチ（3回目）を踏む	3回目のフットスイッチを踏む操作をすると1から13の工程が自動的に行われます。 1 脱気開始。脱気中ランプ点灯。  2 設定した真空度に達すると脱気終了。脱気中ランプ消灯  3 1回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。  4 1回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。  5 ガス循環開始。脱気中ランプ、ガス充填中ランプ点灯。   6 循環タイマーで設定した時間が経過するとガス循環終了。脱気中ランプ、ガス充填中ランプ消灯。   7 2回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。  8 2回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過すると2回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。  9 ノズル後退 10 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。  11 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。   12 冷却終了 冷却中ランプ消灯  13 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
15	シール完了	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止） 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。